

施策2

スポーツ・文化活動の振興

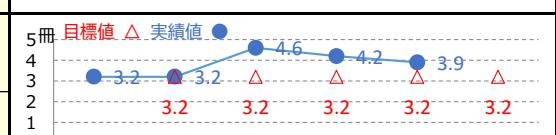
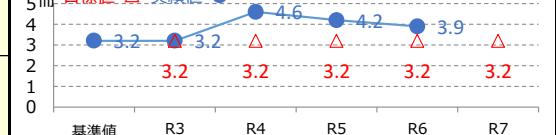
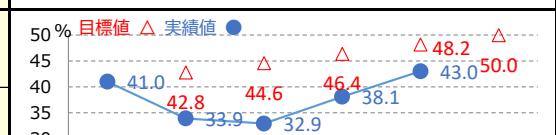
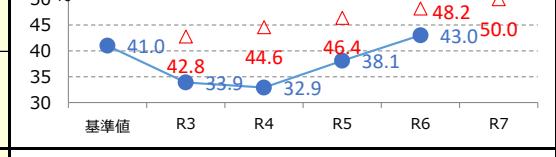
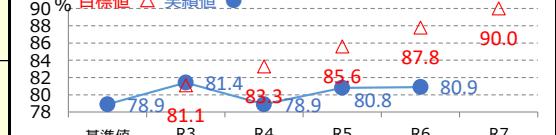
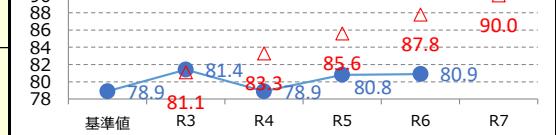
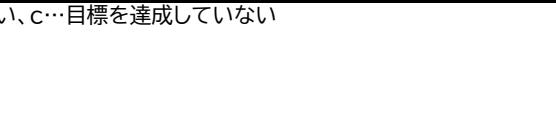
(全 27 事務事業)

施策2.スポーツ・文化活動の振興

● 施策評価表		
● 事務事業評価表		
1. 国際交流事業	(まちの魅力推進課)	1
2. シーメイトの湯管理運営事業	(福祉課)	3
3. シーメイトグラウンド管理運営事業	(福祉課)	5
4. シーメイト屋内施設管理運営事業	(福祉課)	7
5. シーメイト屋外施設維持管理事業	(福祉課)	9
6. スポーツ推進委員活動支援事業	(社会教育課)	11
7. スポーツ協会支援事業	(社会教育課)	13
8. 大会等参加支援事業	(社会教育課)	15
9. スポーツイベント開催事業	(社会教育課)	17
10. 社会教育委員の会運営事業	(社会教育課)	19
11. 文化協会活動支援事業	(社会教育課)	21
12. 文化祭開催事業	(社会教育課)	23
13. 図書館図書貸出事業	(社会教育課)	25
14. 図書館一般講座開催事業	(社会教育課)	27
15. 図書館ボランティア活動支援事業	(社会教育課)	29
16. 生涯学習館ボランティア講師派遣事業	(社会教育課)	31
17. 生涯学習推進委員会運営事業	(社会教育課)	33
18. 生涯学習館一般講座開催事業	(社会教育課)	35
19. 生涯学習館学習発表会開催事業	(社会教育課)	37
20. 町民センター管理運営事業	(社会教育課)	39
21. 図書館管理運営事業	(社会教育課)	41
22. 広域体育施設活用事業	(社会教育課)	43
23. 社会体育館等管理運営事業	(社会教育課)	45
24. 屋外スポーツ施設管理運営事業	(社会教育課)	47
25. 体育施設整備事業	(社会教育課)	49
26. 町民センター改修事業	(社会教育課)	51
27. 生涯学習館管理運営事業	(社会教育課)	53

施策評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)				前期基本計画期間 <令和3年度～7年度>	
体総合計系画	基本目標	1. “ひと”と“まち”がにぎわい魅力あふれるまち		施策統括課	社会教育課
	施策	2. スポーツ・文化活動の振興		関係課	まちの魅力推進課・福祉課

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標		単位	基準値	R6目標値	実績値の年次推移		判定
			目標の方向性	R6実績値			
スポーツ行事の参加者数	2-1	人	4,510	4,582		4,510 4,528 4,546 4,564 4,582 4,600	C
				2,267		2,267	
講座内容に満足している講座生の割合	2-2	%	97.9	98.8		97.9 98.1 98.3 97.8 98.6 98.8	b
				96.6		96.6 96.9 96.6 99.0	
町民図書館における町民一人あたりの貸出冊数	2-2	冊	3.2	3.2		3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2	a
				3.9		3.9	
町内のスポーツ施設・文化施設を利用したことがある町民の割合	2-3	%	41.0	48.2		41.0 42.8 44.6 46.4 48.2 50.0	C
				43.0		43.0	
町内のスポーツ施設・文化施設に対する満足度	2-3	%	78.9	87.8		78.9 81.1 83.3 85.6 87.8 90.0	C
				80.9		80.9	

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

2-1 スポーツ活動を支援する		所管課							
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 スポーツ活動の支援 52 位 / 3 位		社会教育課							
町が取り組むべきこと		(①すべての世代の人々が交流を深め、心身の健全な発達と豊かな人間性を育むことができるよう、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくります。【総合戦略】 ②スポーツを身近に親しむことができるよう、手軽にできるスポーツやレクリエーションの普及啓発を推進します。							
主な取り組み状況		・『さわやかウォーキングしめ』をスポーツ推進委員と協力して開催した。 ・スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携し、しままちスポーツフェスタ2024を開催した。							
課題		・子どもに関しては、塾や習い事があり、また、青年期から壮年期にかけては、仕事が中心となった生活になっているため、イベントの参加やスポーツをする機会が減少傾向にある。 ・町のスポーツイベントに参加せざるともスポーツを楽しむ機会が醸成されつつあるため、町の取組み内容や方針は見直していく必要があると考えられる。							
R8年度取り組み方針		・スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携して、スポーツイベントやレクリエーション等の情報提供やスポーツ活動の普及啓発に取り組む。 ・スポーツへの関心、意欲を高めもらうため、スポーツフェスタなどに参加してもらい、日常における体力づくりのためにスポーツに接する機会を増やす。							
町が取り組むべきことの達成状況									
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない									
構成する事務事業									
番号	事務事業名	事務事業評価			施策評価				
	事務事業の概要	経費区分	事業費			今後の方向性	優先度	施策評価での方向性	
	担当課		R5 決算	R6 決算	R7 予算				
1	スポーツ推進委員活動支援事業	特定財源	0	0	0	D		D	
	スポーツ推進委員のスポーツ推進活動が活発に行われるよう、スポーツ推進活動の支援を行う。	一般財源	1,433	1,663	3,065	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持	
		合計	1,433	1,663	3,065				
		(内 会計年度任用職員人件費)							
2	社会教育課 一般会計	関与 正職員数(人)	0.17	0.22	0.24	D		D	
	志免町スポーツ協会の活動が活発に行われるよう、スポーツの普及、振興を図る活動の支援を行う。	特定財源	0	0	0	成果・費用とも維持	○	成果・費用とも維持	
		一般財源	4,458	4,458	4,916				
		合計	4,458	4,458	4,916				
3	社会教育課 一般会計	関与 正職員数(人)	0.17	0.19	0.20	D		D	
	糟屋郡民スポーツ大会等の上位大会の出場選手の大会に参加する経済的な負担が軽減されるよう、助成金の交付等の参加の支援を行う。	特定財源	0	0	0	成果・費用とも維持	-	成果・費用とも維持	
		一般財源	2,740	2,908	3,235				
		合計	2,740	2,908	3,235				
4	社会教育課 一般会計	関与 正職員数(人)	0.16	0.18	0.11	D		D	
	市民がスポーツへの関心や意欲が高まるよう、スポーツフェスタなどのイベントの開催を行う。	特定財源	0	1,681	1,987	成果拡充・費用拡大	◎	成果拡充・費用拡大	
		一般財源	2,208	2,101	3,557				
		合計	2,208	3,782	5,544				
スクラップ	社会教育課 一般会計	関与 正職員数(人)	0.91	0.73	0.71				
	町が取り組むべきことを構成する事業の方向性								
	ビルド	新規事業の方向性や内容	なし						
		拡充事業の方向性や内容	【スポーツイベント開催事業】 しままちスポーツフェスタについて、町民、事業所、町内会等が、これまで以上に参加、来客数の増加が見込める企画を実施していく、スポーツを通じて町民同士の交流の機会を創出していく。						
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし							
	縮小事業の方向性や内容	なし							
R8年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持							

2-2 生涯学習・文化活動を支援する		所管課		
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 生涯学習・文化活動の支援 47位 ／ 5位		社会教育課		
町が取り組むべきこと	①町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、文化協会と連携し、情報提供を行うとともに、文化祭などの成果を発表できる機会をつくります。【総合戦略】 ②町民が国際理解を深め、国際感覚を育むための講座などを開催します。【総合戦略】 ③新しい本や特設コーナーの紹介など、町民図書館の情報を発信します。 ④町民の生きがいづくりや文化活動を通じた仲間づくりのため、読み聞かせなどの町民図書館主催イベントのボランティア活動を支援します。			
主な取り組み状況	・文化協会や商工会等と連携して11月初旬に芸能発表・屋外イベント・美術作品展示等を実施した。 ・図書館の教養講座を実施した。 ・生涯学習館の講座では講座開催の周知についてホームページ、広報紙など、様々な手段で情報発信を行った。 ・国際交流事業(イングリッシュプログラム)を実施した。			
課題	・講座の参加者が少なくなっているため、自主サークルへの移行が少なくなっている。 ・文化協会会員の高齢化に伴い、団体の解散や脱退などが増加傾向にある。			
R8年度取り組み方針	・引き続き、町民が参加しやすい講座を開催する。 ・文化協会と連携をし、様々な活動の支援と会員確保に向けた取り組みを継続していく。			
町が取り組むべきことの達成状況				
<input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない				

番号	構成する事務事業(評価対象事業のみ)						施策評価 の方向性	
	事務事業名		経費区分	事務事業評価(転記)				
	事務事業の概要	担当課		R5 決算	R6 決算	R7 予算		
1	国際交流事業		特定財源	0	392	552	D	
			一般財源	610	376	674		
			合計	610	768	1,226		
	1 町民が異文化に触れ、国際理解を深め、国際感覚を養うことができるよう、また外国人の日本語や日本文化への理解が深まるよう、国際交流行事や日本語講座の開催を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)				成果・費用とも維持	
2	まちの魅力推進課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.40	0.37	0.53	一	
	社会教育委員の会運営事業		特定財源	0	0	0	D	
			一般財源	790	625	504		
	2 社会教育委員の活動が活発に行われるよう、社会教育委員の会の運営を行う。		合計	790	625	504	成果・費用とも維持	
3	社会教育課	一般会計	(内 会計年度任用職員人件費)				成果・費用とも維持	
	文化協会活動支援事業		関与 正職員数(人)	0.20	0.22	0.12		
			特定財源	0	0	0	D	
	3 志免町文化協会の活動が活発に行われるよう、文化協会が行う町文化活動を推進する様々な活動の支援を行う。		一般財源	1,260	1,931	1,498		
4	社会教育課	一般会計	合計	1,260	1,931	1,498	成果・費用とも維持	
			(内 会計年度任用職員人件費)				成果・費用とも維持	
	文化祭開催事業		関与 正職員数(人)	0.16	0.19	0.21		
	4 町民が文化活動に触れあうことができ、また文化協会登録団体が活動、学習意欲が向上するよう、文化祭の開催を行う。		特定財源	0	0	0	B	
5	社会教育課	一般会計	一般財源	1,212	1,689	2,484		
	図書館図書貸出事業		合計	1,212	1,689	2,484	成果拡充・費用維持	
			(内 会計年度任用職員人件費)				○ 成果拡充・費用維持	
	5 町民が読みたい本を借りることができるよう、図書の貸出を行う。		関与 正職員数(人)	0.22	0.31	0.35		
6	社会教育課	一般会計	特定財源	42	45	40	D	
	図書館一般講座開催事業		一般財源	11,646	37,400	38,405		
			合計	11,688	37,445	38,445	成果・費用とも維持	
	6 町民が知識、情報を得ることができ、また生きがいや仲間づくりができるよう、各種教養講座の開催を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)	(2,121)	(26,380)	(26,868)		
7	社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.48	0.77	0.62		
	図書館ボランティア活動支援事業		特定財源	0	0	30	D	
			一般財源	0	27	25		
	7 図書館ボランティア団体やその会員の活動が活発に行われるよう、活動場所の提供や助成金の交付によるボランティア活動の支援を行う。		合計	0	27	55	成果・費用とも維持	
8	社会教育課	一般会計	(内 会計年度任用職員人件費)				成果・費用とも維持	
	生涯学習ボランティア講師派遣事業		関与 正職員数(人)	0.22	0.32	0.22		
			特定財源	0	0	0	D	
	8 町立小中学校や町内会の生涯学習活動が活発に行われるよう、ボランティア指導の登録者を指導者として派遣を行う。		一般財源	115	100	115		
9	社会教育課	一般会計	合計	115	100	115	成果・費用とも維持	
	生涯学習推進委員会運営事業		(内 会計年度任用職員人件費)				成果・費用とも維持	
			関与 正職員数(人)	0.17	0.52	0.47		
	9 生涯学習館の運営についての意見が活発に出されるよう、生涯学習推進委員会を設置し、運営を行う。		特定財源	0	0	0	D	
10	社会教育課	一般会計	一般財源	36	44	102		
	生涯学習推進委員会運営事業		合計	36	44	102	成果・費用とも維持	
			(内 会計年度任用職員人件費)				成果・費用とも維持	
	10 町民が生涯学習のきっかけづくりや仲間づくりができるよう、講座の開催や自主サークルへの支援を行う。		関与 正職員数(人)	0.18	0.03	0.23		
11	生涯学習館一般講座開催事業		特定財源	387	435	820	D	
			一般財源	3,343	4,196	4,688		
			合計	3,730	4,632	5,508	成果・費用とも維持	
	11 町民が生涯学習に対する興味や関心が深まり、また受講生の学習意欲が向上するよう、発表会の開催を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)	(2,229)	(3,122)	(3,123)		
12	社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.22	0.02	0.17		
	生涯学習館学習発表会開催事業		特定財源	0	0	0	D	
			一般財源	55	90	357		
	12 町民が生涯学習に対する興味や関心が深まり、また受講生の学習意欲が向上するよう、発表会の開催を行う。		合計	55	90	357	成果・費用とも維持	
13	社会教育課	一般会計	(内 会計年度任用職員人件費)				成果・費用とも維持	
	13 社会教育課		関与 正職員数(人)	0.17	0.02	0.17		

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	【文化祭開催事業】 文化祭は、商工会との合同開催により、経費の縮減と来場者の増加が期待される。また、より質の高い文化祭を開催するため、企画から運営までを民間企業に委託することも検討していく必要がある。
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	なし
	縮小事業の方向性や内容	なし
R8年度の町が取り組むべきことの方向性		<input type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input checked="" type="checkbox"/> 維持

2-3 スポーツ・文化活動ができる場を提供する 〈重点取組〉	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) スポーツ活動・文化活動ができる場所の確保 45 位 / 9 位	社会教育課

町が取り組むべきこと	①施設の老朽化に対応するため、志免町公共施設個別施設計画に基づき、優先順位を明確にして、段階的に改修します。 ②町に設置が困難な屋内プールなどについては、近隣施設の利用を支援します。 ③施設予約や使用料の支払いなど施設の利用方法の利便性を向上させます。
主な取り組み状況	・町民センター改修工事(令和5年度～令和7年度)を行った。 ・総合公園野球場の一塁側のダッグアウト及び観客席のリニューアルと、レフト側の照明設備についてLED化に更新した。 ・福岡県立アクシオン福岡の「総合プール」と「トレーニング室」を町民の人が低料金で利用できるよう、施設利用の契約をした。 ・公共施設インターネット予約システム、キャッシュレス決済の導入を行っている。 ・令和6年度は、シーメイトの外壁タイルの修繕や浴場ろ過装置のろ材交換を行った。
課題	・シーメイト施設の老朽化が顕著である。 ・蛍光灯や水銀灯の製造停止に伴い、ランプ交換による維持管理が困難である。 ・維持管理のコストを受益者負担による公平性を鑑み使用料や減免規定の運用について関係課と見直し協議が必要。 ・インターネット予約システムでの予約の場合、減免団体の該当要件や使用理由の確認が不明確となり、減免規定等の運用に支障が出ている部分がある。
R8年度取り組み方針	・既存施設については、劣化状況や施設が持つ役割等により優先度を決定し、効率的な改修に取り組む。 ・公共施設個別施設計画に基づき、町民体育館の長寿命化改修工事と、総合公園基本計画に基づき、総合公園野球場施設整備工事(3期)を行う。 ・町民が低料金で利用できるよう、近隣施設(かすやドームプール)と利用契約を進める。 ・公共施設インターネット予約システム及びキャッシュレス決済について、積極的に利用してもらえるよう、分かり易い手続き方法の案内と周知を行う。
町が取り組むべきことの達成状況	
<input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない	

番号	構成する事務事業(評価対象事業のみ)						施策評価 の方向性	
	事務事業名		経費区分	事務事業評価(転記)				
	事務事業の概要	担当課		R5 決算	R6 決算	R7 予算		
1	シーメイトの湯管理運営事業		特定財源	12,553	11,201	11,480	D	
			一般財源	24,405	26,392	29,163		
			合計	36,958	37,593	40,643	成果・費用とも維持	
	1 町民が快適に入浴施設を利用できるよう、シーメイトの浴場と電子浴ルームの管理運営を行う。		(内 会計年度任用職員人件費)					
2	福祉課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.28	0.54	0.54	成果・費用とも維持	
	シーメイトグラウンド管理運営事業		特定財源	3,516	3,069	20,370	D	
			一般財源	6,467	8,459	12,645		
	2 町民がスポーツや行事等でグラウンドが快適に利用できるよう、シーメイト敷地内のグラウンド等の管理運営を行う。		合計	9,983	11,528	33,015	成果・費用とも維持	
3	福祉課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)					
	シーメイト施設管理運営事業		閏与 正職員数(人)	0.26	0.50	0.50	成果・費用とも維持	
			特定財源	21,025	22,987	29,406	D	
	3 町民が活動に応じた施設を快適に利用できるよう、シーメイト内の各部屋の貸出や施設内の管理を行う。		一般財源	85,830	214,043	106,744		
4	福祉課 一般会計		合計	106,856	237,030	136,150	成果・費用とも維持	
			(内 会計年度任用職員人件費)	(16,679)	(22,659)	(23,815)		
	4 町民がシーメイト敷地内のなかよしパーク等の屋外施設を快適に利用できるよう、保守管理を行う。		閏与 正職員数(人)	0.30	0.58	0.56	成果・費用とも維持	
	シーメイト屋外施設維持管理事業		特定財源	1,327	0	0	D	
5	5 町民センター管理運営事業		一般財源	13,956	11,470	11,803		
			合計	15,283	11,470	11,803	成果・費用とも維持	
	(内 会計年度任用職員人件費)		(2,368)			(0)		
	5 町民が町民センターを安全で快適に利用できるよう、維持管理と施設利用の受付業務を行う。		閏与 正職員数(人)	0.27	0.51	0.50	成果・費用とも維持	
6	社会教育課 一般会計		特定財源	252	0	851	D	
			一般財源	16,750	12,989	24,915		
	6 町民が町民図書館を安全で快適に利用できるよう、図書館の環境整備と維持管理を行う。		合計	17,002	12,989	25,766	成果・費用とも維持	
	(内 会計年度任用職員人件費)		(6,002)	(7,806)	(8,782)			
7	社会教育課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.40	0.33	0.31	成果・費用とも維持	
	図書館管理運営事業		特定財源	0	0	0	D	
			一般財源	22,403	949	900		
	7 町民が町民図書館を安全で快適に利用できるよう、図書館の環境整備と維持管理を行う。		合計	22,403	949	900	成果・費用とも維持	
8	社会教育課 一般会計		(内 会計年度任用職員人件費)	(22,101)				
			閏与 正職員数(人)	0.47	0.98	0.68	成果・費用とも維持	
	広域体育施設活用事業		特定財源	0	0	0	A	
			一般財源	325	608	1,136		
9	7 町民が町に設置していない公営プールとトレーニング施設を料金で利用できるよう、福岡県立アクション福岡の「総合プール」「トレーニング室」の施設利用契約を行う。		合計	325	608	1,136	成果拡充・費用拡大	
	(内 会計年度任用職員人件費)							
	9 社会教育課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.08	0.08	0.05	成果拡充・費用拡大	
10	社会体育館等管理運営事業		特定財源	2,453	2,732	1,710	D	
			一般財源	12,691	12,399	12,952		
	8 町民が社会体育施設等を安全で快適に利用できるよう、社会体育施設等の管理運営を行う。		合計	15,144	15,132	14,662	成果・費用とも維持	
	(内 会計年度任用職員人件費)		(2,282)	(3,174)	(4,151)			
11	社会教育課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.42	0.55	0.41	成果・費用とも維持	
12	屋外スポーツ施設管理運営事業		特定財源	4,339	4,102	4,850	D	
			一般財源	7,283	6,833	8,952		
	9 町民が運動広場及び総合公園施設を安全で快適に利用できるよう、管理運営を行う。		合計	11,622	10,935	13,802	成果・費用とも維持	
13	(内 会計年度任用職員人件費)							
	11 社会教育課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.71	0.62	0.40	成果・費用とも維持	
14	体育施設整備事業		特定財源	259,100	91,432	53,520	D	
			一般財源	26,563	15,350	0		
	10 社会体育施設等の安全性、機能性、利便性が向上するよう、整備を行う。		合計	285,663	106,782	53,520	成果・費用とも維持	
	(内 会計年度任用職員人件費)							
15	社会教育課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.85	0.81	0.73	成果・費用とも維持	
16	11 町民センター改修事業		特定財源	30,946	1,599,745	1,160,163	G	
			一般財源	0	0	3,668		
	11 町民センターの安全性と機能性が向上するよう、耐震補強や老朽化した設備機器の交換などの工事を行う。		合計	30,946	1,599,745	1,163,831	終了廃止	
17	(内 会計年度任用職員人件費)							
	12 社会教育課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.56	0.57	0.62	終了廃止	
18	生涯学習館管理運営事業		特定財源	1,708	1,733	1,672	D	
			一般財源	18,247	25,221	27,070		
	12 町民が生涯学習館を安全で快適に利用できるよう、生涯学習館(ホール、会議室等)の管理運営を行う。		合計	19,955	26,955	28,742	成果・費用とも維持	
	(内 会計年度任用職員人件費)		(6,434)	(12,159)	(13,090)			
19	社会教育課 一般会計		閏与 正職員数(人)	0.48	0.19	0.39	成果・費用とも維持	

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性		
ビルド	新規事業の方向性や内容	なし
	拡充事業の方向性や内容	【広域体育施設活用事業】 町民が町に設置していない公営プールとトレーニング施設を低料金で利用できるよう、福岡県立アーバンスポーツセンター福岡の「総合プール」「トレーニング室」の施設利用契約を行っている。町民の利便性がさらに向上するよう、令和8年度から粕屋町の粕屋総合体育館(かすやドーム)のプール利用についても、低料金で利用できるよう粕屋町と利用契約を行う。
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	【町民センター改修事業】 令和7年度で町民センター改修が終了するため廃止する。
	縮小事業の方向性や内容	なし
R8年度の町が取り組むべきことの方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 最優先 <input type="checkbox"/> 優先 <input type="checkbox"/> 維持

3. 施策の総括と今後の展開

施策の成果指標の達成度は「スポーツ行事の参加者数」はスポーツフェスタの開催もあり、戻りつつある。「講座内容に満足している講座生の割合」は横ばいなので、講座の内容に工夫が必要である。「町民図書館における町民一人あたりの貸出冊数」は目標値を上回っている。「町内のスポーツ施設・文化施設を利用したことがある町民の割合」は目標値に近づいている。「町内のスポーツ施設・文化施設に対する満足度」は横ばいであるが、今後施設の改修等で回復が見込まれる。今後はスポーツ活動や生涯学習・文化活動を支援するために、関係団体と連携し取り組みを進めていくとともに、それらの活動ができる場を提供するために、志免町公共施設個別施設計画に基づき改修していく。

4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
- 目標に向かってある程度順調に進んでいる
- 目標に向かってあまり進んでいない
- 目標に向かって進んでいない

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0402201
事務事業名		国際交流事業		担当課	まちの魅力推進課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する	科 项	款 02 総務費
根拠法令条例等				目	01 総務管理費
				01	一般管理費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 2 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名			単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦	町民					
		①	町内在住外国人					
		⑦						
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	(町民)異文化に触れることができ、国際理解を深め、国際感覚を養うことができる。 (町内在住外国人)日本語や日本文化への理解を深める。						
		町民の国際理解、国際感覚を育むための講座等を開催する。また、志免町在住や勤務する外国人が日本語を学び、外国での生活を支援する。 ・外国人のための日本語講座の開催 ・国際交流行事の開催						
※実施年度に行った主な活動								

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	自指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	外国人のための日本語講座開催数	↑	回	目標	45	47	48	95.7%
					実績	45	45		
イ	活動	国際交流行事開催数	↑	回	目標	1	2	2	100.0%
					実績	1	2		
ウ	成果	外国人のための日本語講座受講者数(延べ 人数)	↑	人	目標	250	250	300	127.2%
					実績	293	318		
工	成果	国際交流行事参加者数	↑	人	目標	30	60	60	50.0%
					実績	29	30		
才					目標				
					実績				
力					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源					
	特定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
	財源	その他特定財源	0	557	392	552	
		一般財源	610	506	376	674	
		合計(A)	610	1,063	768	1,226	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	3,168	3,200	3,227	4,376	
		トータルコスト(A)+(B)	3,778	4,263	3,995	5,602	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.40	0.40	0.37	0.53	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成2年12月に発足した志免町国際交流町民会議に合わせ事業を開始した。平成23年3月に同会議が解散したため、一時事業を中心したが、平成24年4月に事業を再開した。	留学や就労で来る外国人は年々増えてきているが、それに伴い地域でのトラブルや問い合わせも増えている。町内在住の外国人に日本の文化やルールなどを啓発していく必要がある。	日本語講座において、参加者(外国人)の出欠が日によって増減するため、それに対応するようにボランティア講師を調整することが負担となっている。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

国際交流事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				国際理解を相互に深めることは、文化活動の振興につながるため、上位施策への貢献度がある。	2	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				国際交流事業の意図は国際理解を相互に深めることであり、総合計画及び総合戦略と合致している。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				総合計画及び総合戦略において町の取り組みとして位置づけられている。また、日本語教室の運営はボランティア講師が行っており、町と住民が役割を分担して事業に取り組んでいるため、妥当である。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				令和5年度から再開しているイングリッシュプログラムに対しては参加した児童からの評価も良く、成果は得られている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				対象は年代・国籍を問わず町民全体とすることが適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				日本語講座は専門的な知識があるボランティア講師の方が運営し、イングリッシュプログラムは英語体験施設の北九州グローバルゲートウェイで実施している。どちらも手段として適切である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				事業実施にあたり町が担う業務は必要最低限で取り組んでいるため、効率的である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				事業実施にあたり町が担うコストは必要最低限で取り組んでいるため、削減の余地がない。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				日本語講座は受益者負担をもらっているが、イングリッシュプログラムは旅行業法で参加費の徴収が困難であるため、改善の余地はなく、財源確保は適切である。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点	昨年度と同様にイングリッシュプログラムを開催し、北九州市にあるグローバルゲートウェイに町内の小学生を今年度は開催日を2日間に増やしたが、参加者は定員割れとなった。(夏休み期間中は習い事や家族旅行もあり、また、各小学校でALTの先生が類似するイベントを開催していることが原因と考えられる。)参加者した児童や保護者からは好評であるが、開催規模については今後の参加者数の動向を見ながら調整が必要である。	
	有効性	いずれか0点	d	c	c	c		
	・効率性	いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	0902301
事務事業名		シーメイトの湯管理運営事業		担当課	福祉課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	款 03	民生費
根拠法令条例等		志免町総合福祉施設「シーメイト」条例		科 01	社会福祉費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ		目 05	総合福祉施設管理費
		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始		個別計画	
				<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	
				年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名			単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民(及び町外利用者)			人	46,588	46,342	46,342
		①						
		⑨						
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・快適に入浴施設を利用できる						
		シーメイトの浴場と電子浴ルームの管理運営を行う。 ・浴場の運営事務 ・利用料収納事務 ・施設維持管理業務(浴場清掃や浴場受付などの業務を委託、施設修繕)						

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	浴場開場日数	↑	日	目標	256	255	255	98.4%
					実績	255	251		
イ	活動	修繕件数	↑	件	目標	5	5	5	140.0%
					実績	8	7		
ウ	成果	浴場利用者数	↑	人	目標	40,000	45,000	40,000	89.5%
					実績	44,585	40,255		
工	成果	修繕対応率(修繕件数/修繕必要件数)	↑	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0%
					実績	100.0	100.0		
才	成果	管理不足に起因する事故発生件数	↓	件	目標	0	0	0	
					実績	0	0		
力					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		12,553	9,110	11,201	11,480		
合計(A)		24,405	32,335	26,392	29,163		
(内 会計年度任用職員人件費)		36,958	41,445	37,593	40,643		
正職員人件費[按分](B)		2,375	4,555	4,515	4,571		
トータルコスト(A)+(B)		39,334	46,000	42,109	45,214		
関与職員数(単位:人)	正職員	0.28	0.54	0.54	0.54		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成16年4月のシーメイト開館時より、誰もが利用できる施設として浴場、電子浴ルームの営業を開始した。	シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、設備の修繕が多くなっている。燃料費の高騰などもあり、福祉施設であることを鑑みても受益者負担を見直す必要がある。また、利用者の多くは町外在住者である。	(利用者) ・休館日翌日が休湯日と知らなかった。分かりにくい。 ・休館日翌日も営業してほしい。 ・入墨者の入浴を禁止してほしい。 ・お湯が熱い。又は、お湯がぬるい。 ・冷房を強くしてほしい。 ・サウナを再開してほしい。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

シーメイトの湯管理運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				浴場・電子浴ルームを安全かつ低料金で利用できることによって、健康維持・増進やスポーツ・文化活動の振興に貢献している。また、人とふれあうことで地域活動に参加するきっかけとなっているが、利用者の半数は町外在住者である。	2	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				総合計画、法令等において、浴場の管理運営を行行政が行うべき事業である明確な記載がなく検討の余地がある。また、特定の利用者が繰り返し利用するため延べ利用者数に対し実利用者が少なくニーズが限定的である。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				民間の公衆浴場は、存在し検討の余地はある。近隣の市において入浴施設の運営を見直す動きもある。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				施設が老朽化しており、適宜、修繕が必要となっている。また、利用者数は、コロナ禍以前の水準に回復しているが、更なる増加は難しい。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				町営施設として、主対象が町民であることは、妥当であるが町外利用者が半数である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				対象者に快適に利用してもらうためには、現状行っている維持管理等は必要な手段であり適切である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				受付などの管理は委託している。また他の業務についても必要最小限の人員で効率的に行っている。	1	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い				採算性が見込める事業ではなく、今後も施設の老朽化等により修繕費用や燃料費等の増加が見込まれる。また、投入コストに対し受益者が限定期である。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い				受益者負担の見直し(増額)が必要である。普通公衆浴場(銭湯)入浴料金は、物価統制令(昭和21年3月勅令第118号)の規定に基づき知事が指定しているが、その額と同等程度まで、段階的に値上げを行う。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
		0点	1点	2点	3点			
	いずれか0点	d	c	c	c			
	いずれか1点	c	c	c	c			
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
C		課題が多くあり業務の大幅な見直しが必要						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0902302
事務事業名		シーメイトグラウンド管理運営事業		担当課	福祉課
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会 計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	科 项	01 一般会計 03 民生費 01 社会福祉費 05 総合福祉施設管理費
根拠法令条例等		志免町総合福祉施設「シーメイト」条例		個別計画	
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,588	46,342	46,342
		①				
		⑨				
	・スポーツや行事等でグラウンド等が快適に利用できる					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	シーメイト敷地内のグラウンド等の管理運営を行う ・グラウンド等の受付業務 ・グラウンド等の維持管理業務(施設管理や電気保安管理などの業務を委託、施設修繕)				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	グラウンド利用申請日数	↑	日	目標 357 実績 320	357 314	357	88.0%
イ	活動	多目的広場占用利用申請日数	↑	日	目標 306 実績 161	305 132	200	43.3%
ウ	成果	グラウンド利用者数	↑	人	目標 34,000 実績 47,500	48,000 37,798	40,000	78.7%
エ	成果	多目的広場占用利用者数	↑	人	目標 6,000 実績 7,272	7,000 11,441	10,000	163.4%
オ	成果	グラウンド稼働率(時間)	↑	%	目標 50.0 実績 45.8	50.0 35.9	40.0	71.8%
カ	成果	多目的広場占有稼働率(時間)	↑	%	目標 50.0 実績 9.2	10.0 10.6	10.0	106.2%

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源					
	特定財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	17 3,499	0 3,728	0 3,069	16,900 3,470	
		一般財源	6,467	8,693	8,459	12,645	
		合計(A)	9,983	12,421	11,528	33,015	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	2,206	4,219	4,181	4,233	
		トータルコスト(A)+(B)	12,188	16,640	15,710	37,248	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.26	0.50	0.50	0.50	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成16年4月のシーメイト開館時より、高齢者から子どもまで障がい者も健常者もすべての町民が利用できるグラウンドを開設した。 平成23年度から多目的広場に防球用のネットを設置し、それを契機にグラウンドゴルフ・ゲートボール場、サッカー・ソフトボールの練習場、幼稚園・保育園のレクレーション・運動会の練習、大規模イベント時の駐車場等の用途に供するため、同年度から有料貸出を開始した。	グラウンドや多目的広場の利用ニーズは、大きい。令和5年度に公共施設予約システムの改修が行われた。ネット予約が開始されると更に利用者が増え、駐車場の確保が重要となってきた。また、物価、人件費の高騰により、ナイト一設備の省電力化や受益者負担の見直しが必要。	・令和5年度より使用料還付の基準を他の社会教育施設等と同様とする見直しを行った。 (利用者から) ・雨宿りや日除けができる場所がほしい。 ・荷物置き場がほしい。ベンチが欲しい。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

シーメイトグラウンド管理運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策		判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い	<input type="checkbox"/> 貢献度ふつう	<input type="checkbox"/> 貢献度低い		町民がグラウンド等を快適に利用できることは、スポーツに親しみやすい環境づくりにつながる。			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		総合計画の町が取り組むべきことで「スポーツ・文化活動ができる場を提供する」としているため。		3	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		志免町総合福祉施設シーメイト条例において、グラウンド等の管理運営の事業を行うこととしている。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い		利用者数は、令和5年度に対し減少しているが、同程度には回復可能		2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		快適に利用してもらうためには必要な手段である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		施設管理はシルバー人材センターに委託している。他の業務についても必要最小限の人員で効率的に行っている。		2	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		施設の維持管理のためには必要な経費であり、コスト削減の余地はない。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		設備の老朽化及び電気料金の高騰もあり受益者負担の観点よりナイター設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。			
分析・検証結果	妥当性				分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点	ナイトー設備のLED化や、防球ネットの改修について令和7年度に実施予定。また、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。			
	有効性	d	c	c	c	既設の駐車場が満車になることが多々あり、施設の貸出を制限することや多目的広場を駐車場として利用することがある。駐車場の確保や代わりの交通手段が無ければ大幅な利用者の増加は、難しい。			
	効率性	c	c	c	c				
	合計0点	c	c	b	b				
	合計1点	c	b	b	a				
	合計4点	c	b	a	a				
	合計5点	c	b	a	a				
	合計6点	c	b	a	a				
	b	課題が少しあり業務の一部見直しが必要							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							
		コストの方向性(一般財源・関与職員数)							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	0902303
事務事業名	シーメイト施設管理運営事業	担当課	福祉課	担当係	福祉施設係
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 款 科 目	会計 01 一般会計 03 民生費 01 社会福祉費 05 総合福祉施設管理費
取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する			
根拠法令条例等	志免町総合福祉施設「シーメイト」条例	個別計画			
実施期間	□ 06年度のみ	□ 単年度繰返	H 16 年度より開始	□ 期間限定(複数年)	年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動に応じた施設を快適に利用できる			
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	シーメイト内の各部屋の貸出や管理、また施設内にある機器全般の保守、修繕、整備業務等を行う(有料貸出施設:シーメイトホール、シーメイトホール控室、会議室[5室]、和室[2室]、研修室、工芸室、調理実習室、交流室[2室]) ・施設の貸出業務、施設管理、備品管理、修繕委託業務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率	
ア	活動	貸出可能時間数	↑	時間	目標	44,208	51,240	51,408	99.3%
					実績	46,008	50,904		
イ	活動	修繕箇所	↑	件	目標	20	20	15	80.0%
					実績	28	16		
ウ	成果	会議室等の利用者数(延べ)	↑	人	目標	50,000	55,000	60,000	112.4%
					実績	54,437	61,803		
工	成果	貸出時間数	↑	時間	目標	10,000	12,000	14,000	118.1%
					実績	11,328	14,168		
才	成果	施設稼働率	↑	%	目標	30.0	30.0	30.0	92.0%
					実績	25.7	27.6		
力	成果	修繕対応率	↑	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0%
					実績	100.0	100.0		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源 一般財源 合計(A) (内 会計年度任用職員人件費)	18 21,007 85,830 106,856 (16,679)	111,300 33,359 99,019 243,678 4,892	0 22,987 214,043 237,030 (22,659)	0 29,406 106,744 136,150 (23,815)	
正職員人件費[按分](B)		2,545		4,892		4,849	
トータルコスト(A)+(B)		109,401		248,570		241,879	
関与職員数(単位:人)		正職員		0.30		0.58	
						0.58	
						0.56	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 (利用者)
平成16年度の開館当初より、将来の少子化、高齢社会の進展、子どもたちの健全育成、高齢者・障害者の自立のための総合的情報の発信、交流の場を提供する事を目的に開始された。	シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、修繕が多くなっている。電気料の高騰などもあり、福祉施設であることを鑑みても受益者負担を見直す必要がある。また、利用者の多くは町外在住者である。	・楽器演奏他音出してできる部屋を増やしてほしい。 ・エアコンの効きが悪い。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

シーメイト施設管理運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				安全かつ低料金で施設を提供することによって、町民のスポーツ・文化活動の場となっている。	2	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				スポーツ・文化活動の振興のために、幅広い年齢層の町民が会議室等の施設を快適に利用できる場を提供することは適切である。また、シーメイト条例に施設の設置について定めている。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				施設運営の民間委託等について検討の余地がある。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				管理面において問題はなく期待する成果が得られている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				活動に応じた施設を快適に利用してもらうためには、必要な手段である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最小限の人員で効率的に行っている。	2	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				需用費や委託料など、施設の維持管理のためには必要な経費であり、削減の余地はない。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				設備の老朽化及び電気料金の高騰もあり、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
		0点	1点	2点	3点	施設の老朽化が進んでいたため修繕費用が増加している。施設を維持管理していくには、受益者負担の観点より設備等の料金設定や減免規定の見直しを検討する必要がある。		
	有効性 ・ 効率性	いずれか0点	d	c	c	c		
		いずれか1点	c	c	c	c		
		合計4点	c	c	b	b		
		合計5点	c	b	b	a		
		合計6点	c	b	a	a		
b		課題が少しあり業務の一部見直しが必要						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	0902304
事務事業名		シーメイト屋外施設維持管理事業		担当課	福祉課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	款 03	民生費
				科 01	社会福祉費
			目 05	総合福祉施設管理費	
根拠法令条例等				個別計画	
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 16 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,588	46,342	46,342
		①				
		⑨				
	・なかよしパークやウォーキングロード、ポケットパークなどシーメイトの屋外施設を安全で快適に利用できる					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	シーメイト敷地の屋外施設(駐車場、遊具、樹木、街灯等)の管理、保守、修繕、整備業務等を行う ・維持管理業務(樹木管理や屋外トイレ清掃などの業務を委託、施設修繕)				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	修繕件数	↑	件	目標 5	5	5	100.0%
					実績 5	5		
イ	活動	維持管理業務委託件数	↑	件	目標 6	6	5	100.0%
					実績 6	6		
ウ	成果	管理不足に起因する事故発生件数	↓	件	目標 0	0	0	
					実績 0	0		
工					目標			
					実績			
才					目標			
					実績			
力					目標			
					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	1,327	0	0	0	
		合計(A)	13,956	15,704	11,470	11,803	
		(内 会計年度任用職員人件費)	15,283	15,704	11,470	11,803	
		正職員人件費[按分](B)	(2,368)	(2,899)		(0)	
		トータルコスト(A)+(B)	2,290	4,307	4,269	4,233	
閥与職員数(単位:人)	正職員	0.27	0.51	0.51	0.50		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成16年4月のシーメイト開館時より、高齢者から子どもまで、障がい者も健常者もすべての町民が利用できる屋外施設として供用を開始した。	シーメイトの開館より約20年が経過し施設の老朽化が進み、修繕が多くなっている。遊具等無料開放の設備も多く維持コストが負担となっている。	(利用者) ・複合遊具等があり、家族や孫と過ごせる場所として利用できる。 ・なかよしパークベンチにおいて置き引きが発生した。 ・安心して過ごせて良い。 ・使いやすい。 ・ウォーキングロードの照明が暗い。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名 シーメイト屋外施設維持管理事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				町民のスポーツ・文化の場、交流の場である施設を安全で快適に利用できることは上位施策の目指す姿に直結する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 檢討の余地がある <input type="checkbox"/> 檢討の余地が多い				スポーツ・文化活動の振興のために、幅広い年齢層の町民が安全かつ快適に利用できる場を提供することは適切である。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 檢討の余地がある <input type="checkbox"/> 檢討の余地が多い				志免町総合福祉施設「シーメイト」条例においてシーメイトのなかよしパークやウォーキングロード等の管理運営事業を行うこととしている。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				管理不足による事故発生はなく、期待する成果が十分に得られている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				施設を利用できる対象は限定しておらず、公共施設の対象としては一般的である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				施設を快適に利用してもらうためには、必要な手段である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最小限の人員で効率的に行っている。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				施設の維持管理のためには必要な経費であり、削減の余地はない。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				誰でも利用できる公園のような施設であり、受益者負担にはなじまない。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
		0点	1点	2点	3点	無料で利用できる屋外のウォーキングロードやなかよしパークの遊具は、施設内でも特に利用者が多い。経年劣化により外灯や屋外トイレ、遊具等の老朽化が進んでいるが、誰でも利用できる公園のような施設であり、修繕費の財源確保のための受益者負担を望むことは難しい。		
	有効性 ・ 効率性	いずれか0点	d	c	c			
		いずれか1点	c	c	c			
		合計4点	c	c	b			
		合計5点	c	b	b			
		合計6点	c	b	a			
a		業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502101
事務事業名		スポーツ推進委員活動支援事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会 計
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する	款 项	01 一般会計
根拠法令条例等				科 目	10 教育費
				目	06 保健体育費
				目	02 体育振興費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 36 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ スポーツ推進委員	人	15	15	15
		①				
		⑨				
	・スポーツ推進活動が活発に行われる					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	教育委員会が委嘱するスポーツ推進委員のスポーツ推進活動の支援を行う ・事務局運営事務(定例会開催事務等) ・委員報酬の支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	定例会開催数	↑	回	目標 14 実績 11	14 9	14	64.3%
イ	成果	町行事、各種団体スポーツ行事参加回数(スポーツ推進委員)	↑	回	目標 18 実績 25	18 28	18	155.6%
ウ	成果	町行事、各種団体スポーツ行事参加延べ人 数(スポーツ推進委員)	↑	人	目標 30 実績 114	100 136	200	136.0%
エ					目標 実績			
オ					目標 実績			
カ					目標 実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源	0	0	0	0	
	特定財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0 0	0 0	0 0	0 0	
	一般財源	1,433	2,016	1,663	3,065		
	合計(A)	1,433	2,016	1,663	3,065		
	(内 会計年度任用職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	1,420	1,491	1,930	2,317		
	トータルコスト(A)+(B)	2,853	3,507	3,593	5,382		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.17	0.17	0.22	0.24	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和36年、スポーツ振興法に基づき委嘱された。	平成23年8月にスポーツ振興法がスポーツ基本法に全部改正され、名称が体育指導委員からスポーツ推進委員へ変更となった。それに伴い、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整の役割が追加された。	町行事や各種団体、町内会のスポーツ行事への協力や指導を行っており、依頼者や行事参加者から大変喜ばれている。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名 | スポーツ推進委員活動支援事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				スポーツ活動推進の中心的な役割を担っており、貢献度は非常に大きい。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ活動を支援するとあり、スポーツ活動の普及啓発を推進することとしているため。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				スポーツ基本法において、市町村がスポーツを推進する体制整備のため、スポーツ推進委員を委嘱するものとなっており、その支援も町が行うべきであるため。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				町の主催行事のリニューアルに伴う会議やリハーサルへの出席、町内会や小中学校での体力テストなど推進委員の活動が増えてきており、活躍の場が広がっている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				スポーツ推進委員の活動を支援する事業であり、これ以外の対象はない。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				スポーツ推進活動の活動がしやすくなるようにその事務局運営等の支援をすることが有効である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				予算は、報酬・研修会参加のための費用等、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				スポーツ推進委員の活動の恩恵を受けるのは、町民全体と考えられる。誰でも取り組める生涯スポーツの普及を図ることを目的として活動をしているので、対象は町民全般となるので、受益者負担を求める必要はない。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点	町主催行事のさわやかウォーキングをスポーツ推進委員の発案で開催することとした。結果は、当日の雨天で中止となったが、スポーツ推進委員が主体的な関わりを今後とも支援していき、志免町のスポーツ振興の前進に努めたい。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c		
		いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
	a	業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502102
事務事業名		スポーツ協会支援事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-1	スポーツ活動を支援する	款 10	教育費
根拠法令条例等		志免町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱		科 项 06	保健体育費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 46 年度より開始		目 02	体育振興費
				個別計画	
				<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) <input type="checkbox"/> 年度～ <input type="checkbox"/> 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 志免町スポーツ協会	団体	1	1	1
		①				
		⑨				
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
		志免町のスポーツの普及、振興を図る志免町スポーツ協会の活動支援を行う ・補助金の交付				
※実施年度に行った主な活動						

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	↑	千円	目標 4,458	4,458	4,916	100.0%
					実績 4,458	4,458		
イ	成果	スポーツ協会会員数	↑	人	目標 1,900	1,900	1,900	90.9%
					実績 1,757	1,728		
ウ	成果	スポーツ協会部数	↑	部	目標 17	17	17	100.0%
					実績 17	17		
エ	成果	スポーツ協会主催大会開催数	↑	回	目標 18	17	17	100.0%
					実績 17	17		
オ					目標			
カ					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0 0	0 0	0 0	0 0	
	経費	一般財源	4,458	4,462	4,458	4,916	
		合計(A)	4,458	4,462	4,458	4,916	4,462
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	1,420	1,676	1,672	1,929	
		トータルコスト(A)+(B)	5,878	6,138	6,130	6,845	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.17	0.19	0.19	0.20	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和46年10月、体育協会(5種目204名)発足。平成10年4月より自主運営化した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 時代の変化に対応するため、名称が体育協会からスポーツ協会に変更となった。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
--	---	----------------------------

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

スポーツ協会支援事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策		判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い	<input type="checkbox"/> 貢献度ふつう	<input type="checkbox"/> 貢献度低い		町のスポーツ活動が活発に行われることは、上位施策の目指す姿の実現に直結する。			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ活動を支援すると掲げ、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくることとしている。		3	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		スポーツ基本法において、基本理念の実現を図るため、地方公共団体とスポーツ団体など相互に連携を図り、協働するよう努めることとなっており、町がスポーツ協会の支援を行うことは妥当である。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い		スポーツ協会各競技協会による大会などが活発に開催されているため、スポーツの普及や振興に貢献される。		3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		志免町の生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する団体であり、他に有効な対策はない。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		スポーツ協会の自主的な活動を支援するため、補助金を交付することが最も有効な手段である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。		3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		予算は、スポーツ活動を支援する最低限の補助金のため、コストの削減は難しい。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		補助金のため、受益者負担はない。			
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
		0点	1点	2点	3点	スポーツ協会は、競技力の向上や、町民向けスポーツ大会の開催など、町のスポーツ活動推進に大きく貢献しており、今後も継続的に支援していく必要があると考えられる。			
	有効性	d	c	c	c				
	・効率性	c	c	c	c				
	合計4点	c	c	b	b				
	合計5点	c	b	b	a				
	合計6点	c	b	a	a				
a	業務の内容は適切である								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)					
		皆減	縮小	維持	拡大						
今後の方向性	拡充		C	B	A						
	維持		E	D							
	縮小		F								
	休廃止	G									
	D	成果・費用とも維持									

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業	事務事業コード	1502103
事務事業名		大会等参加支援事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会 計
	取 組 み 方 針	2-1	スポーツ活動を支援する	款 項	01 一般会計
				科 目	10 教育費
					06 保健体育費
					02 体育振興費
根拠法令条例等		志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会 参加助成金交付要綱		個別計画	
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 不明 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 糟屋郡民スポーツ大会出場選手	人	320	320	350
		① 県民スポーツ大会出場選手	人	61	47	80
		⑤ 福岡県代表として九州大会や全国大会への出場選手	人	93	55	90
		・大会に参加する経済的な負担が軽減される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	代表として競技に参加する選手に対して、大会等への参加の支援を行う ・助成金、奨励金の交付事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率		
ア	活動	郡民・県民スポーツ大会出場助成件数	↑	件	目 標	480	480	480		
					実 績	381	387			
イ	活動	奨励金交付件数	↑	件	目 標	37	90	90		
					実 績	40	41			
ウ	成果	郡民・県民スポーツ大会出場助成金額	↑	千円	目 標	1,920	1,920	1,920		
					実 績	1,524	1,548			
エ	成果	奨励金交付金額	↑	千円	目 標	500	500	500		
					実 績	720	500			
オ					目 標					
					実 績					
カ					目 標					
					実 績					

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	0	0	0	
経 費		一般財源	2,740	3,235	2,908	3,235	
合計(A)		(内 会計年度任用職員人件費)	2,740	3,235	2,908	3,235	
正職員人件費[按分](B)			1,334	1,405	1,586	1,065	
トータルコスト(A)+(B)			4,074	4,640	4,494	4,300	
関与職員数(単位:人)	正職員		0.16	0.16	0.18	0.11	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和27年に糟屋郡民体育大会が始まり、スポーツを通して、糟屋地区住民の友情の輪を広げようと開催されている。	23年度から、「糟屋地区体育大会」から古賀市が離脱し、糟屋郡7町での「糟屋郡民体育大会」となった。 31年度から糟屋郡民スポーツ大会へ名称変更した。 26年度から、九州大会・全国大会等への参加奨励金の交付を行っている。	なし

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

大会等参加支援事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				郡民スポーツ大会や、県大会、全国大会の志免町の代表として競技に参加する選手を支援することは、スポーツ活動の推進に結びつく。	3			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				活動に係る経済的負担を軽減することは、総合計画の町が取り組むべきことであるスポーツ活動を支援することにつながる。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				本町出身者が郡民スポーツ大会や、県大会、全国大会に出場する際の補助であるため、町の関与は妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				郡民スポーツ大会、県民スポーツ大会、福岡駅伝が予定どおりに開催され、出場する選手には奨励金の交付を適宜行っており、対象者の経済的負担の軽減を図っている。	3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				志免町大会等参加奨励金交付要綱及び志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会参加助成金交付要綱で定めてある人が対象。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				スポーツ基本法において、優秀なスポーツ選手を育成するための施策が義務付けられている。大会出場にあたり遠征費等の経費がかかるため、その経費を補助することは有効な手段である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				予算は、志免町大会等参加奨励金交付要綱及び志免町福岡県民スポーツ大会・糟屋郡民スポーツ大会参加助成金交付要綱で定めてある額、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				活動できる国や県等の補助金はなく、奨励金を交付する事業であることから受益者負担の考え方はなじまない。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)							
	0点	1点	2点	3点	郡民スポーツ大会及び県民スポーツ大会、福岡駅伝が予定どおり実施された。14競技団体の参加があり、参加者数も387人にのぼっているため、町民へのスポーツ振興に成果があげられていると考えられる。また、令和6年度については九州大会や全国大会に出場する選手が昨年度と比較すると減少したが、様々な行事が開催され志免町民の活躍の機会が増えることが予想されるため、奨励金等について今後の増加に備えておきたい。					
a		業務の内容は適切である								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1503204
事務事業名		スポーツイベント開催事業	担当課	社会教育課	担当係
総 体 合 計 画 系	施 策	03 住民活動・地域交流の推進	予 算 款 科 目	会 計 01 一般会計 10 教育費 06 保健体育費 02 体育振興費	
取り組み方針	3-2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動に参加するきっかけをつくる			
根拠法令条例等			個別計画		
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 37 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	人	46,588	46,342
		・町民へスポーツの振興を図る	スポーツフェスタの開催を行う(毎年10月第2日曜日に実施) ・競技種目の検討、公民館部長への説明 ・広報、プログラム作成、備品確認と賞品購入、会場設営や清掃、警備業者との委託契約 ・フェスタに向けたスポーツ協会、スポーツ推進委員との三者会議会議、スポーツ推進委員との会議 ・前日準備、当日競技運営、後片付け、次年度に向けた協議 ・綱引き大会・さわやかウォーキング・健康づくり地域交流フェスタの開催を行う。			

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	スポーツイベント開催回数	↑	回	目標 4 実績 4	4	4	100.0%
イ	活動	スポーツイベント広報、ホームページ掲載回数	↑	回	目標 4 実績 5	5	12	160.0%
ウ	成果	競技参加者数(スポーツフェスタ)	↑	人	目標 1,000 実績 625	1,000 2,000	3,000	200.0%
エ	成果	参加した公民館数(スポーツフェスタ)	↑	公民館	目標 — 実績 —	—	12	
オ	成果	競技参加者数(綱引き大会)	↑	人	目標 210 実績 227	210 196	210	93.3%
カ	成果	参加した公民館数(綱引き大会)	↑	公民館	目標 15 実績 13	15 12	15	80.0%

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	-	0	0	
経費		一般財源	2,207	-	2,101	3,557	
費		合計(A)	2,207	-	3,782	5,544	
(内 会計年度任用職員人件費)				-			
正職員人件費[按分](B)		6,679	-	6,405	6,839		
トータルコスト(A)+(B)		8,886	-	10,187	12,383		
関与職員数(単位:人)	正職員	0.74	-	0.73	0.71		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
令和4年度に町民の誰もがスポーツに触れ合う機会づくりのために開催を決定し、令和5年度に第1回を開催する運びとなった。	参加公民館が計30公民館になり、会場として中央小学校グラウンド、周辺駐車場及び休息場所として町民体育館・小学校体育館を使用しているが、すでに会場が手狭となっていて。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度から町民大運動会が中止されノウハウを引き継げなかったことで、町内会の中には参加が難しいとの声もあった。町としては、町民大運動会を廃止し、新たにスポーツフェスタを開催することを決定した。	町民同士の交流の機会であった町民大運動会の廃止を惜しむ声がある。また、スポーツフェスタの中で交流の機会を創出する内容にして欲しいとの意見もある。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

スポーツイベント開催事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				町民がスポーツやレクリエーションに親しみやすい環境づくりに取り組むことは、上位施策の実現されているまちづくりに直結する。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				スポーツの普及や振興につながる機会を提供することで、町民同士が学びあい、高めあうまちづくりに近づける。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				行政が、施策目標を達成するため推進すべき事業である。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				ミニミニ大運動会やモルック大会、その他の体験ブースにおいても参加人数が多く大変盛況だったと思われる。ミニミニ大運動会やモルック大会については、参加者の増加を期待する声もあるため、ニーズを捉えて参加人数を増やしたい。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				全町民が対象のため、適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				スポーツフェスタという形で開催し、全町民が自由に参加できるようにした。一部、事前に申請してもらうものもあるが、来場して興味のあるものにチャレンジできる。入口のハードルを低くして、どなたにも意欲を深めてもらっていると考えたため、適切である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				最小限の事業費で実施している。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				スポーツ振興くじ助成金(toto)の申請を行った。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点		
	有効性	いずれか0点	d	c	c	c		
	・効率性	いずれか1点	c	c	c	c		
		合計4点	c	c	b	b		
		合計5点	c	b	b	a		
		合計6点	c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大	著名なスポーツ団体の参加等来客数の増加が見込みめる企画を実施していく、町民同士の交流の機会を創出していく。			
成果の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	A		成果拡充・費用拡大						上記企画等の実施に伴い、運営・管理の業務委託を行うため、費用拡大の必要性がある。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502202
事務事業名		社会教育委員の会運営事業	担当課	社会教育課	担当係 社会教育係
総 体 合 計 画 系	施 策	02 スポーツ・文化活動の振興	予 算 款	01 一般会計 10 教育費	
	取 紾 方 針	2-2 生涯学習・文化活動を支援する	科 項	05 社会教育費 01 社会教育総務費	
根拠法令条例等	社会教育法、志免町社会教育委員に関する条例	個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 47 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 社会教育委員	人	9	8	8
		①				
		⑨				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・活動が活発に行われる				
		社会教育に関する諸計画の立案や研究調査、教育委員会への諮詢をする社会教育委員の会の運営を行う (委員構成:学校長(小中学校)2名、公民館長2名、文化協会1名、スポーツ協会1名、識見を有する者3名) ・会議運営事務 ・研修会、大会等の引率 ・委員報酬の支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	社会教育委員の会開催数	↑	回	目標	4	4	5
					実績	3	3	75.0%
イ	活動	社会教育研修会、大会引率回数	↑	回	目標	7	6	7
					実績	6	6	100.0%
ウ	成果	社会教育研修会、大会参加延べ人数(社会教育委員)	↑	人	目標	58	57	56
					実績	50	40	70.2%
工					目標			
才					実績			
力					目標			
					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		790	909	625	504		
合計(A)		790	909	625	504		
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)		1,670	1,935	1,930	1,152		
トータルコスト(A)+(B)		2,459	2,844	2,556	1,656		
関与職員数(単位:人)	正職員	0.20	0.22	0.22	0.12		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和47年から。社会教育法第15条による。	なし	社会教育委員のあり方、取り組み方がわかりにくい。(社会教育委員)

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

社会教育委員の会運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策		判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう	<input type="checkbox"/> 貢献度低い		社会教育委員の会の活動が活発に行われることは、町のスポーツ・文化活動の振興につながり、上位施策の目指す姿の実現に直結する。			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		総合計画において、町が取り組むべきことでスポーツ活動、生涯学習、文化活動を支援することとなっており、社会教育委員の会の活動が活発に行われることは、町のスポーツ・文化活動の振興につながるため妥当である。		2	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		社会教育法第15条及び志免町社会教育委員に関する条例の規定に基づき、地域において社会教育に優れた知見を有する人々の知識を社会教育行政に反映させていくことが必要である。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い		各社会教育委員が積極的に活動へ参加しており、期待する成果が得られている。		3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		この事業において、社会教育委員を対象とすることは適切である。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		委員会(会議)の開催や各種研修会・大会等へ参加することが意図を達成するうえで最も有効な手段である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		定例会議や糟屋地区代表者会議への参加、各市町社会教育委員担当者との連携など必要最低限の人員で効率的に業務が行われている。		3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		投入コストは委員活動に対する報酬が主であり、学習機会の確保や社会教育の振興を図るためにも削減の余地はない。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		社会教育委員への国や県等の補助金等はないため適切である。			
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
		0点	1点	2点	3点	定例会議や社会教育委員主催の町研修会の実施、各種大会への参加など、年間を通して積極的な活動を行うことができた。今後も会議や研修会等へ意欲的に参加し、社会教育委員としての見識を深め、志免町の社会教育振興を図る取り組みに繋げてもらいたい。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c				
		いずれか1点	c	c	c				
		合計4点	c	c	b				
		合計5点	c	b	b				
		合計6点	c	b	a				
	a 業務の内容は適切である								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)					
		皆減	縮小	維持	拡大						
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)					
	維持		E	D							
	縮小		F								
	休廃止	G									
	D	成果・費用とも維持									

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502203
事務事業名		文化協会活動支援事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興		予 算 款 科 目	会 計 01 10 05 05	一般会計 教育費 社会教育費 文化振興費
取り組み方針		2-2	生涯学習・文化活動を支援する				
根拠法令条例等		文化芸術基本法、志免町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 60 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～		年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 志免町文化協会	団体	1	1	1
	①					
	⑦					
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町文化活動の推進役として様々な活動(七夕美術展、チャリティカラオケ、文化講演会、響、文化祭芸能発表、芸術祭等)をしている町文化協会への支援を行う ・補助金支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	負担金額	↑	千円	目標 1,260 実績 1,260	1,260 1,260	1,498	100.0%
イ	成果	文化協会会員数	↑	人	目標 400 実績 257	300 229	400	76.3%
ウ	成果	文化協会サークル数	↑	団体	目標 60 実績 38	50 38	60	76.0%
エ	成果	文化協会主催事業数	↑	回	目標 6 実績 6	3 3	3	100.0%
オ					目標 実績			
カ					目標 実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源	0	0	0	0	0
	特定財源	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
	その他特定財源		0	0	0	0	
	一般財源		1,260	1,931	1,931	1,498	
	合計(A)		1,260	1,931	1,931	1,498	
	(内 会計年度任用職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)		1,334	1,762	1,672	2,029	
	トータルコスト(A)+(B)		2,594	3,693	3,603	3,527	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.16	0.20	0.19	0.21	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町文化協会は昭和60年に志免町文化活動の推進役として、また、町民の心のふれあいを目的に「心豊かなまちづくり」をモットーに創立している。	文化協会は、志免町の文化の伝統を継承している。新規加入の団体は増加しているが、若年層の加入は少ない。今後も長く活動を行うために、組織の刷新が必要になってくる。	若年層の参加を増やすためには、どのような活動を行っていけばいいか検討が必要(文化協会)

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

文化協会活動支援事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策			判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町文化活動の推進役である文化協会への支援を行い活動が活発に行われることは、町民が歴史や文化に触れ合える機会をつくり、人々の交流が盛んな活力あるまちを目指す上位施策の実現に直結する。			3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画において、町が取り組むべきこととして「ふるさと意識を高める」ことを掲げており、文化協会の活動が活発に行われることは歴史文化の振興につながるため妥当である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	文化芸術基本法により、自治体は文化芸術に関する施策を策定し、実施する責務があることが明記されているため妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	年間を通して予定していた協会主催イベント等の活動を実施することができ、期待する成果が得られた。			3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	文化協会は町文化活動の推進役であり、対象として適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町が補助金を交付することで活動を支援し、文化協会の活動が活性化されるため適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	補助金交付事務やイベント運営等の業務支援は最小限の職員で行っており、見直しする余地はない。			3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	投入コストは必要最低限の活動費補助のみであり、コスト削減により文化協会の活動を縮小・制限することにつながるため削減する余地はない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	利用状況に応じて受益者負担を行っており、国や県の補助等もないため適切である。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
			0点	1点	2点	3点	
	有効性	いずれか0点	d	c	c	c	
	・効率性	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b		
	合計5点	c	b	b	a		
	合計6点	c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502204
事務事業名		文化祭開催事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興		予 算 款 科 目	会 計 01 10 05 05	一般会計 教育費 社会教育費 文化振興費
取り組み方針		2-2	生涯学習・文化活動を支援する				
根拠法令条例等				個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 54 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～		年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦文化協会登録団体	団体	38	39	39
	①町民	人	46,588	46,342	46,342	
	⑦					
	・(団体)活動、学習意欲が向上する ・(町民)文化活動に触れあうことができる					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	志免町文化協会や志免町商工会等と連携して文化祭の開催を行う(毎年11月初旬 芸能発表、屋外イベント、作品展示等を実施) ・開催に係る事務 ・文化協会、商工会、各種団体との連絡調整				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	自指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	文化祭開催数	↑	回	目標	1	1	1	100.0%
					実績	1	1		
イ	成果	文化祭参加団体数	↑	団体	目標	15	15	15	100.0%
					実績	14	15		
ウ					目標				
エ					実績				
オ					目標				
カ					実績				
力					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	0	0	0	
経費		一般財源	1,212	2,192	1,689	2,484	
		合計(A)	1,212	2,192	1,689	2,484	
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)		1,833	2,822	2,717	3,370		
トータルコスト(A)+(B)		3,045	5,014	4,405	5,854		
関与職員数(単位:人)	正職員	0.22	0.32	0.31	0.35		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 昭和54年の町民センター開館時に開始された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 住民・団体主導で行う形式で行っている。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 文化祭に参加された方から、もっと多くの駐車場確保を行ってほしいとの意見がある。
--	--	---

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

文化祭開催事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策			判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	文化祭の開催は、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりに取り組み、お互いが学びあい高めあうまちづくりを目指す上位施策の実現に直結する。			3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで、文化活動への意欲を高めるため、発表の機会をつくることが掲げられているため適切である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	文化芸術基本法により、自治体は文化芸術に関する施策を策定し、実施する責務があることが明記されているため妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	町民センター改修工事のため、シーメイトにおいて商工会(商工まつり)との合同開催を行った。特に集客の面で期待する成果が得られた。			3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	文化活動への意欲を高め、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりに取り組むために団体及び町民を対象とすることは適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	各種団体と連携して文化祭を開催することは、活動成果発表の場と文化活動に触れ合う機会の提供につながるため適切である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	企画から実施まで長期間に及ぶため、仕事を兼務している担当職員の負担が大きい。また、企画の考案等にも限界があるため、企画から運営までノウハウを備えた民間企業に委託することなども検討が必要である。			2	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	会場設営費や運営費等の必要最低限のコストで実施しているが、多少コストを投入しても企画から運営までノウハウを備えた民間企業に委託することで、より質の高い文化祭を開催することができ、町民の参加も増加すると想定される。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国や県等の補助等ではなく、町の負担は最低限であり、協力団体にも運営費等を負担いただいているので適切である。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
			0点	1点	2点	3点	
	有効性	いずれか0点	d	c	c	c	
	・効率性	いずれか1点	c	c	c	c	
	合計4点	c	c	b	b		
	合計5点	c	b	b	a		
	合計6点	c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)				
		皆減	縮小	維持	拡大	文化祭は、商工会との合同開催により、経費の縮減と来場者の増加が期待される。また、より質の高い文化祭を開催するため、企画から運営までを民間企業に委託することも検討していく必要がある。				
成果の方向性	拡充		C	B	A					
	維持		E	D						
	縮小		F							
	休廃止	G								
	B	成果拡充・費用維持					コストの方向性(一般財源・関与職員数)			

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502205
事務事業名		図書館図書貸出事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する	款 10	教育費
根拠法令条例等		図書館法		科 项 05	社会教育費
				目 06	町民図書館費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名		単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民		人	46,558	46,342	46,342
		①					
		⑨					
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・読みたい本を借りることができる					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	図書の貸出を行う ・図書の購入、除籍 ・本館での図書貸出業務、出張貸出、団体貸出 ・調査研究への資料提供					

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	自指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	蔵書数	↑	冊	目標 130,000	130,000	140,000	107.3%
					実績 140,398	139,533		
イ	活動	開館日数	↑	日	目標 298	297	299	99.3%
					実績 293	295		
ウ	成果	来館者数	↑	人	目標 40,000	45,000	60,000	129.5%
					実績 53,693	58,272		
エ	成果	1日平均貸出冊数(延べ貸出冊数/開館日数)	↑	冊	目標 730	730	730	85.8%
					実績 670	626		
オ	成果	1日平均貸出人数(延べ貸出人数/開館日数)	↑	人	目標 170	170	170	90.0%
					実績 159	153		
カ	成果	電子図書館 年間貸出冊数	↑	冊	目標 -	17,000	25,000	123.7%
					実績 16,283	21,025		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源	0	0	0	0	
	特定財源	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
		その他特定財源	42	40	45	40	
	一般財源		11,646	39,123	37,400	38,405	
	合計(A)		11,688	39,163	37,445	38,445	39,163
	(内 会計年度任用職員人件費)		(2,121)	(28,011)	(26,380)	(26,868)	
	正職員人件費[按分](B)		4,001	6,777	6,761	5,975	
	トータルコスト(A)+(B)		15,689	45,940	44,206	44,420	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.48	0.77	0.77	0.62	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成3年、町民の要望により図書館が開館した。また、令和5年度より、大野城市からの呼びかけにより、粕屋町、新宮町、志免町を含めた4市町による「しあわせ電子図書館」を開設。	来館者は昨年度から増加しているが貸出人、貸出冊数は減少している。志免町民はWEBによる予約・リクエストが出来ることを広報等で周知することにより予約件数が少しづつ増加している。令和5年度から大野城市、粕屋町、新宮町とともに電子図書館を開設し、今後の利用状況に期待される。	町民からのリクエストは、文学書や実用書、雑誌が多いが、最近は児童書や絵本などの要望も増えている。また、電子図書館を開設に伴い、電子図書館の利用方法の問い合わせが多くなっている。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

図書館図書貸出事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				図書館法第3条に掲げているように、町民が読みたい本を借りるようにすることで、町民の生涯学習や文化活動が充実することができ、町の総合計画に掲げている施策にも直結している。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				図書館法第3条第1項に基づき、公共図書館は資料を収集・整理・保存し、一般公衆の利用に供しなければならない。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				図書館法第2条において、地方自治体が公共図書館を設置することとなっている。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				月替わりで本の特設テーマの展示を行い、新たに受け入れた本についてもホームページにて掲載し情報発信に努めている。電子図書館の利用増に伴い、今後予算を増やす必要性もある。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				実際の図書館においては、誰でも図書の閲覧ができ、電子図書館においても町内居住、在学、在勤の方であれば利用できるため適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				実際の図書館で現在貸出しているものは本や視聴覚資料、点字図書、大型活字本であり、手段としては適切である。また、電子図書館においては文字を大きくする機能や読み上げする機能があり、現状の手段としては適切である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				図書を図書館システムに登録し貸出・返却・予約などをこのシステムで効率的に行っている。また不具合があってもシステム業者の窓口へ連絡して対応している。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				図書館法に基づく資料収集と利用者へ供するために必要最低限のコストである。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				国や県からの補助はない。また図書館法第17条においてその他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならないこととなっている。		
分析・検証結果	妥当性				分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
		0点	1点	2点	3点	今年度の町民図書館は昨年度に比べて来館者は増加が貸出人數、貸出冊数は減少している。図書館イベント参加から貸出につながる仕掛けを心がけるとともに、本のリクエストなどを参考に、管内の本も選書を充実させたい。また、限定のサービスであるWEB予約・リクエストをより多くの方に活用していただけるよう周知していきたい。また、小中学校を通して読書通帳の利用促進により、児童・生徒の町民図書館の来館・貸出の増加を図っている。今後は、未就園児にも活用いただけるよう周知していきたい。		
	有効性	d	c	c	c	令和5年度から開設している電子図書館の利用が開始され、電子図書の貸出冊数は、前年度比128%と利用者が増えている。今後も、利用方法を町民に広く周知するよう努めていきたい。		
	効率性	c	c	c	c			
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
	a	業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502206
事務事業名		図書館一般講座開催事業	担当課	社会教育課	担当係
総 体 合 計 画 系	施 策	02 スポーツ・文化活動の振興	予 算 款	01 一般会計 10 教育費	
	取 紾 方 針	2-2 生涯学習・文化活動を支援する	科 項	05 社会教育費 06 町民図書館費	
根拠法令条例等	図書館法		個 別 計 画		
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		②意図 (対象をどのような状態にしたいか)				
		町民	人	46,588	46,342	46,342
		図書館法の第三条により、一般公衆の希望に沿い、学校教育を援助し、家庭教育の向上に資する活動をするため、社会教育における学習の機会を利用して、教育活動等を提供するため。				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	幅広く各種教養講座の開催を行う ・講座の企画、立案 ・開催の準備、実施、後片付け				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	講座開催数	↑	回	目標 1	1	1	100.0%
イ	成果	講座延べ参加者数	↑	人	目標 100	50	100	132.0%
ウ					実績 160	66		
エ					目標 100	50	100	100.0%
オ					実績 160	66		
カ					目標 100	50	100	100.0%
力					実績 160	66		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源					
	特定財源	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
		その他特定財源	0	30	0	30	
		一般財源	0	25	27	25	
		合計(A)	0	55	27	55	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	1,833	2,378	2,815	2,117	
		トータルコスト(A)+(B)	1,833	2,433	2,843	2,172	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.22	0.27	0.32	0.22	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成3年の開館当初から実施。 図書館は生涯学習の中核であり、住民からの要望や資料を有効に利用することを啓発するため、講座を開催することとなった。	他課による類似した講座の開催が増えてきた。平成25年度までは「文学講座」、「歴史講座」と、内容によってタイトルを変えていたが、平成26年度から「教養講座」に変更した。	「文学講座」「歴史講座」や「一般実用講座」など多様な内容について開催が望まれている。(参加者からの意見)

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

図書館一般講座開催事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策		判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い	<input type="checkbox"/> 貢献度ふつう	<input type="checkbox"/> 貢献度低い		町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、町の総合計画に掲げている施策に直結している。			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		町民の生きがい・仲間づくりにつながることから、総合計画の施策に一致しているため妥当である。		3	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		図書館法に基づき、生涯学習の機会を提供することは妥当である。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い		コロナ感染症が一段落して、比較的人数の多いイベントが開催できるようになった。		3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		町民を対象としているため適切である。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		企画の段階でニーズを把握し、それに沿ったテーマで講座を開催していく。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		職員1人で取り組んでいることから改善の余地は無い。		3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		予算計上は講師謝礼金のみであり、削減の余地は無い。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		材料費等がかかる際は、受益者負担として一部を負担してもらっている。			
分析・検証結果	妥当性				分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点				
	いすれか0点	d	c	c	c				
	いすれか1点	c	c	c	c				
	合計4点	c	c	b	b				
	合計5点	c	b	b	a				
	合計6点	c	b	a	a				
a	業務の内容は適切である								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502207
事務事業名		図書館ボランティア活動支援事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会 計
	取 紾	2-2	生涯学習・文化活動を支援する	款	01 一般会計
根拠法令条例等				科 项	10 教育費
				目	05 社会教育費
				目	06 町民図書館費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ ボランティア活動団体(助成金交付団体)	団体	5	5	4
		① ボランティア会員(助成金交付団体のみ)	人	60	49	50
		⑦				
		・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	活動場所の提供や助成金の交付によるボランティア活動の支援を行う ・ボランティア活動団体との連絡調整 ・助成金の交付 ・研修会、交流会の開催				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	助成金額	↑	千円	目標	115	115	85
					実績	115	100	
イ	活動	研修会、交流会開催数	↑	回	目標	4	4	4
					実績	1	0	
ウ	成果	ボランティア活動回数(助成金交付団体)	↑	回	目標	220	220	190
					実績	142	178	
工	成果	研修会、交流会延べ参加者数	↑	人	目標	5	5	4
					実績	5	0	
才					目標			
					実績			
力					目標			
					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源	0	0	0	0	0
	特 定	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
	財 源	その他の特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	115	115	100	115	
		合計(A)	115	115	100	115	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	1,420	4,572	4,561	4,535	
		トータルコスト(A)+(B)	1,535	4,687	4,661	4,650	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.17	0.52	0.52	0.47	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
開館当初からボランティアの活動団体は2団体であり、その後6団体となった。また、子ども読書活動推進計画により、PTA学校ボランティアも各小学校ごとに計4団体できた。	おはなし会の要請や行事が増え、ボランティアとの協働なくしては読書推進は困難だ。	ボランティアの方が高齢の為、新しい(できれば若い)ボランティアの方が増えてほしいとの声あり。(助成金交付ボランティア団体の方から)

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

図書館ボランティア活動支援事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				図書館ボランティアの活動が活発になることで、図書館の発展や市民の読書活動の推進につながっている。	3	
	意図の適切性 (総合計画、市民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				町の総合計画に基づき、市民の生涯学習や文化活動を支援することとしているため妥当である。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				市民への読書普及促進や町民図書館の健全な発展向上のためのボランティア団体を支援する事業であるため。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				活動範囲がコロナ禍前に戻りつつあるが、新規会員加入と活動しやすい環境づくりを引き続き支援していく。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				図書館ボランティアに支援する対象を限定しているため適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				各団体への支援は助成金の金銭面だけではなく、定例会開場の確保なども行っていて適切である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				担当職員1名で行っているため見直し余地は無い。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				交付要綱に定められている対象経費に対して助成金を交付しているため適正である。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				国や県等の補助金は無い。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点	今年度は4月中旬から5月末まで各ボランティア団体の活動状況を掲示した。またホームページにおいても活動状況を掲載し、一部団体において興味を持たれた方が見学して1~2名が入会したと聞いています。特に読み聞かせボランティアが対面による読み聞かせをほぼ町内の小中学校で実施できた。また折り紙で図書館入り口を装飾するボランティアも町内の小学校のフェスティバルなどで折り紙教室を開催しており、活動回数を増やしている。しかし、支援しているが会員の高齢化と新規会員加入がないことにより、活動を継続していくことが難しい団体もあった。引き続き各団体の活動状況をホームページやイベントなどへの参加により新規会員の加入を支援するとともに、活動しやすい環境づくりを行っていきたい。	
	有効性	いすれか0点	d	c	c	c		
	・効率性	いすれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
	a 業務の内容は適切である							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502209
事務事業名	生涯学習ボランティア講師派遣事業	担当課	社会教育課	担当係	生涯学習1号館
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 款 科 目	会計 01 一般会計 10 教育費 05 社会教育費 08 生涯学習運営費
取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する			
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例	個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 11 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		期間限定(複数年)	年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民	人	46,588	46,342	46,325
		①				
		⑨				
		・生涯学習活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	ボランティア指導の登録者を町民の学習の指導者として派遣を行う ・指導者の登録 ・町民からの要請受付、紹介、派遣 ・講師への謝礼金支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	ボランティア指導の登録者数	↑	人	目標	40	40	112.5%
					実績	42	45	
イ	活動	町立小、中学校への派遣回数	↑	回	目標	10	10	40.0%
					実績	0	0	
ウ	活動	町内会または公民館への派遣回数	↑	回	目標	4	5	
					実績	2	2	
エ	成果	ボランティア指導者より指導を受けた人数	↑	人	目標	100	50	
					実績	0	0	
オ					目標			
					実績			
カ					目標			
					実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	0	0	0	0
経 費		一般財源	0	10	0	10	
		合計(A)	0	10	0	10	
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)		336	173	172	1,641		
トータルコスト(A)+(B)		336	183	172	1,651		
閥与職員数(単位:人)	正職員	0.04	0.02	0.02	0.17		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成10年7月、生涯学習館開館時に町民の学習活動の推進を図るために、あらゆる種目のボランティア指導者の登録を行い、町民の要請があれば指導者を派遣できる体制を作った。	町民独自で指導者を探されることも多くなり、生涯学習館からの派遣が少なくなっている。	派遣を行った団体から好評を得ている。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名 | 生涯学習ボランティア講師派遣事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策		判定			
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input type="checkbox"/> 貢献度高い <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町内で生涯学習が活発に行われることは、町民が学びあい、高めあうまちづくりにつながる。		2			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。					
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	生涯学習活動を行っている講師等の情報収集して、町民へ情報提供するには生涯学習を推進する行政の役割であるため。					
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	派遣を行った団体から好評を得ており、期待する成果が得られている。		3			
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民の依頼により、学習したいことについて指導者を派遣しているので適正である。					
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民から要請があった場合、指導者登録の中から適任者を探して派遣しているので適切である。					
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	必要最低限の時間と人員で業務を行っており、これ以上の見直しの余地はない。		3			
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	講師の交通費の費用のみであるため、これ以上削減の余地はない。					
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	活用できる国や県等の補助金はない。					
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点	地域及び小中学校からのボランティア指導者の派遣依頼はなかった。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c	本年度においては、中央公民館改修工事の為、各中学校で志免町成人記念式典「はたちのつどい」が行われ、着付・手直しボランティア指導者派遣依頼を受けた。	
		いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
a 業務の内容は適切である								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
		E	D						
	維持								
		F							
	縮小								
D	成果・費用とも維持	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502210
事務事業名		生涯学習推進委員会運営事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会 計
	取 組 み 方 針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する	款	01 一般会計
				科	10 教育費
				項	05 社会教育費
				目	08 生涯学習館運営費
根拠法令条例等		志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例		個別計画	
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名		単位	05年度	06年度	07年度 (見込)			
		⑦ 生涯学習推進委員会				団体	1	1		
		①								
		⑨								
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・住民参加と民主的な運営を図るために生涯学習推進委員会を設置、運営を行う(委員数:8名、委員会概要:町民の学習要求の調査、年間サークル活動や主催講座に対する意見具申、生涯学習館へ運営に関する助言、指導) ・会議開催に係る事務								

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	自指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	会議開催数	↑	回	目 標	3	3	3	66.7%
					実 績	2	2		
イ	成果	運営に反映された意見数	↑	件	目 標	3	3	3	100.0%
					実 績	2	3		
ウ					目 標				
エ					実 績				
オ					目 標				
カ					実 績				
力					目 標				
					実 績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0	0	0	0	
一般財源		36	96	44	102		
合計(A)		36	96	44	102		
(内 会計年度任用職員人件費)							
正職員人件費[按分](B)		1,496	259	258	2,217		
トータルコスト(A)+(B)		1,532	355	302	2,319		
関与職員数(単位:人)	正職員	0.18	0.03	0.03	0.23		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成10年7月から生涯学習館の建築後、生涯学習館の運営について住民の意見を反映するため設置された。	なし	今後開催講座を拡大していくために、講師の登録数を増やす必要がある。また、講師登録方法の簡素化、講座終了のアンケート内容の見直しについても検討すべきではないか、などの意見・要望があった。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

生涯学習推進委員会運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定																																		
妥当性 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)		<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い		委員会の設置により、町民の様々な意見を聞き取る事ができ、またその意見を反映させることにより民主的な生涯学習館の運営を図る事ができるため、施策への貢献度は高い。	3																																		
		意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い																																			
				関連する条例において、住民の参加と民主的な活動を図るために、委員会を設置することとなっているため。																																			
有効性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		関連する条例において、委員会を設置することとなっており、その庶務を町で行うこととなっている。また、委員募集では町民から公募する住民参画の機会を取り入れている。	3																																		
		成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)		<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い																																			
				毎回様々な提案や意見をいただいており、行政側では気づかない点もあるため、委員会を通じて、館の利用者や受講生の声を聞くことで成果が得られている。																																			
効率性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		この事業において、生涯学習推進委員を対象とすることは適切である。	3																																		
手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		対象において、委員会の開催に参加することが意図を達成するうえで最も有効な手段である。																																			
業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)		<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		生涯学習に興味を有した委員へ委嘱することで効率的に運営できている。																																			
投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		投入コストは委員活動に対する報酬が主であり、町民の様々な意見を聞き取り、情報共有及び情報提供するためにも削減の余地はない。	3																																		
財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		生涯学習委員への国や県等の補助金等はないため適切である。																																			
分析・検証結果		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">妥当性</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>0点</th> <th>1点</th> <th>2点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">有効性・効率性</td> <td>いずれか0点</td> <td>d</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>いずれか1点</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計4点</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計5点</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td colspan="2" rowspan="3">合計6点</td> <td>c</td> <td>b</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>				妥当性					0点	1点	2点	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	いずれか1点	c	c	c	合計4点		c	c	b	合計5点		c	b	b	合計6点		c	b	a	分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
		妥当性																																					
		0点	1点	2点																																			
有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c																																			
	いずれか1点	c	c	c																																			
合計4点		c	c	b																																			
合計5点		c	b	b																																			
合計6点		c	b	a																																			
				今後も委員会を通じて、館の利用者や受講生の声を聞くことで成果の向上が期待できると推測する。																																			
		a 業務の内容は適切である																																					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502211
事務事業名		生涯学習館一般講座開催事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-2	生涯学習・文化活動を支援する	科 目	款 10 教育費 項 05 社会教育費 目 08 生涯学習館運営費
根拠法令条例等		志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例		個別計画	
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民	人	46,588	46,342	46,325
		①				
		⑨				
・生涯学習のきっかけづくりができる ・知識、技能が習得できる ・仲間づくりができる						
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	講座の開催を行う ・講座(長期、単発)の企画、広報やホームページで募集、受講希望者の受付、開催 ・講座運営業務委託契約事務、支払事務、講師謝礼金支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率		
ア	活動	講座企画数	↑	講座	目標	20	20	40		
					実績	41	37			
イ	活動	講座開催数(延べ)	↑	回	目標	40	200	200		
					実績	109	110			
ウ	成果	講座受講者数	↑	人	目標	300	600	600		
					実績	440	452			
工	成果	講座の満足度	↑	%	目標	99	99	99		
					実績	96	97			
才					目標					
					実績					
力					目標					
					実績					

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源	0	0	0	0	
	特定財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0 387	0 820	0 435	0 820	
	一般財源		3,343	4,889	4,196	4,688	
	合計(A)		3,730	5,709	4,632	5,508	5,709
	(内 会計年度任用職員人件費)		(2,229)	(2,756)	(3,122)	(3,123)	
	正職員人件費[按分](B)		1,833	173	172	1,641	
	トータルコスト(A)+(B)		5,562	5,882	4,804	7,149	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.22	0.02	0.02	0.17	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成10年7月に生涯学習の推進のために生涯学習館が設立されてから。	なし	令和8年度の長期講座再開に向けて、計画的に準備をして企画してほしい。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

生涯学習館一般講座開催事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				この事業の成果と上位施策の成果は同一であり、この事業の成果が向上することは、上位施策の成果が向上することになる。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				条例により、生涯学習館において生涯学習を推進する事業を行うことになっているため。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				長期講座の期間や回数等を見直す(例:同じ講座を半年ずつ2回行うなど)ことで、より多くの町民の参加者を増やすことができると考える。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				一般講座の受講対象者は町民全体であるため。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				条例により、生涯学習を推進する講座を開設することとなっており、他に有効な手段はない。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				関与職員等も最小限で行っているため適切である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				講座開催に必要な最小限の費用で行っているため適切である。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				平成24年度より受益者負担の原則に則り受講料の徴収を開始している。また、国や県の補助等はない。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点	町民センターの改修工事に伴い、長期講座や料理実習等の講座を開催できない状況が続いている。令和8年度の再開に向けて、登録講師の数を増やすための方策を実施している。また、開催希望講座アンケートを一般公募したり、アンケート内容の見直しを行っている。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c		
		いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
	a	業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)				
		皆減	縮小	維持	拡大					
今後の方向性	成果の方向性	拡充		C	B	A				
		維持		E	D					
	縮小			F						
							コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	休廃止	G								
D		成果・費用とも維持								

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502212
事務事業名		生涯学習館学習発表会開催事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施 策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 款 科 目	会 計 01 一般会計 10 教育費 05 社会教育費 08 生涯学習館運営費
取り組み方針		2-2	生涯学習・文化活動を支援する		
根拠法令条例等		志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例		個別計画	
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 10 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名 ⑦講座受講者(一般、ジュニア長期、サークル受講者) ①町民 ⑦ ・(講座受講者)学習意欲が向上する ・(町民)生涯学習に対する興味や関心が深まる	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
			人	396	433	450
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	生涯学習館の主催講座や自主サークルの受講生が、学習した成果を発揮できる発表会(年1回、3月第1日曜日)の開催を行う(ステージ発表、作品展示、体験講座ブース) ・企画、運営、発表者の受付	人	46,588	46,342	46,342
			人	396	433	450

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	開催数	↑	回	目標	1	1	1	100.0%
					実績	1	1		
イ	成果	発表団体数	↑	団体	目標	10	15	15	66.7%
					実績	9	10		
ウ					目標				
エ					実績				
オ					目標				
カ					実績				
力					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源					
	特定財源	国・県支出金、地方債	0	0	0	0	
		その他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源		55	510	90	357	
	合計(A)		55	510	90	357	
	(内 会計年度任用職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)		1,420	173	172	1,641	
	トータルコスト(A)+(B)		1,475	683	262	1,998	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.17	0.02	0.02	0.17	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成10年7月に生涯学習館が開館し、主催講座で学習された成果を年度末に発表して住民に生涯学習の意識の向上を目指す目的で開始された。	なし	生涯学習推進委員より、生涯学習館フェスタの来場者が、展示及び発表等を見学することで学習意欲を高め、館主催の講座やサークルの受講生が増えることが望ましいとの意見がある。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名 | 生涯学習館学習発表会開催事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				この事業の成果と町が取り組むべきことは「生涯学習・文化活動を支援する」同一であり、この事業の成果が向上することは、上位施策の成果が向上することになる。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				展示ブースの認知拡大、体験講座ブースの増設等、発表者や来館者から頂いた意見や改善点を実行することで成果の向上が見込まれる。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、生涯学習館で学んだことの成果を発表できる機会を作ることは、総合計画の町が取り組むべきことで「生涯学習・文化活動を支援する」としているため。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				会場設営などは職員により効率的に行っている。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				最低限の経費で行っているため改善の余地はない。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				国、県等の補助はない。		
分析・検証結果	妥当性				分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
		0点	1点	2点	3点	ステージ発表は集客率の高い午前中に開催し、展示は館の空きスペースを利用して一定期間展示するなど、受講生や来館者の学習意欲の向上が図れるよう改善した。		
	有効性	d	c	c	c	また、生涯学習館学習発表会としてではなく、文化祭と一緒に講座の発表会を開催するなども考えていく必要がある。		
	効率性	c	c	c	c	今年度は、マグネット作り体験、将棋体験、プログラミング体験を行い、集客面で成果があつた。		
	合計0点	c	c	b	b			
	合計1点	c	b	b	a			
	合計4点	c	b	b	a			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
	a	業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							
		コストの方向性(一般財源・関与職員数)							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502301
事務事業名	町民センター管理運営事業	担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 款 項 目	会計 01 一般会計 10 教育費 05 社会教育費 04 町民センター管理費
取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する			
根拠法令条例等	社会教育法、志免町立町民センター条例	個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 54 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度		

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,588	46,342	46,342
		①				
		⑨				
・町民センターを安全で快適に利用できる						
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町民センターの維持管理業務と施設利用の受付業務を行う ・業務委託契約、支払事務 ・施設修繕契約、支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	町民センター開館日数	↑	日	目標 78 実績 78	0 0	73	
イ	活動	施設整備点検箇所数	↑	箇所	目標 14 実績 14	0 0	0	
ウ	活動	工事・修繕箇所数	↑	箇所	目標 2 実績 1	0 0	0	
工	成果	年間利用者数(生涯学習2号館分含む)	↑	人	目標 7,500 実績 6,530	0 0	7,500	
才	成果	施設稼働率(時間単位)(生涯学習2号館分含む)	↑	%	目標 15 実績 10.7	0.0	30	
力	成果	管理不足に起因する事故件数	↓	件	目標 0 実績 0	0 0	0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0 252	0 0	0 0	0 851	
	一般財源		16,750	14,904	12,989	24,915	
	合計(A)		17,002	14,904	12,989	25,766	
	(内 会計年度任用職員人件費)		(6,002)	(7,182)	(7,806)	(8,782)	
	正職員人件費[按分](B)		3,340	3,081	2,901	2,981	
	トータルコスト(A)+(B)		20,342	17,985	15,891	28,747	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.40	0.35	0.33	0.31	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町民のコミュニティの場及び生涯学習の場の提供。昭和54年開館時から維持管理業務を着手。	令和5年度より長寿命化のため改修工事を行っている。(令和8年1月供用開始予定)	長期間利用ができないため、代替施設はないか問い合わせがある。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

町民センター管理運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策		判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	志免町の社会教育の拠点として町民センターを安全で快適に利用できることがスポーツ・文化活動の支援につながっている。		3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町民センターを安全に快適に利用できるような状態を保つことが、スポーツ・文化活動ができる場を提供することにつながり、意図として適切である。			
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	志免町立町民センター条例等により、町が町民センターの管理運営を行うこととなっている。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	改修工事後に利用が再開すれば、成果の向上の余地は多い		2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民及び町外の方も広く利用できるため。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	意図を達成するためには、施設を適正に管理運営することが最も有効かつ必要である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。		3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	適正に管理運営を行う上で必要な費用である。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	受益者負担は適正である。国、県等の補助金は特にない。			
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			令和5年7月より長寿命化改修工事に伴い休館中である。(令和7年12月までの予定) 工事が長期に渡るため、利用者の方には多大な不便をおかけしているが、代替施設としてシーメイトや生涯学習1号館をご案内している。			
	0点	1点	2点	3点		
	いずれか0点	d	c	c		
	いずれか1点	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b	
	合計5点	c	b	b	a	
分析・検証結果	合計6点	c	b	a	a	
	a	業務の内容は適切である				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
		E	D						
	維持								
	縮小		F						
	休廃止	G							
D		成果・費用とも維持				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502302
事務事業名		図書館管理運営事業	担当課	社会教育課	担当係
総 体 合 計 画 系	施 策	02 スポーツ・文化活動の振興	予 算 款 科 目	会 計 01 一般会計 10 教育費 05 社会教育費 06 町民図書館費	
取り組み方針	2-3 スポーツ・文化活動ができる場を提供する				
根拠法令条例等	図書館法、志免町立町民図書館協議会に関する条例、志免町立町民ふれあいセンターに関する条例	個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 3 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		期間限定(複数年)	年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民(及び広域利用者)	人	46,588	46,342	46,342
		①				
		⑨				
		・町民図書館を安全で快適に利用できる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	図書館の環境整備、維持管理を行う ・目視による館内の点検、施設修繕契約、支払事務 図書館協議会の運営を行う(委員8名、町民図書館の運営に関して館長の諮問に応じ、意見等を述べる) ・協議会の開催、資料作成、報酬支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率	
ア	活動	開館日数	↑	日	目標	298	297	299	
					実績	293	295		
イ	活動	協議会開催数	↑	回	目標	3	3	2	
					実績	3	2	66.7%	
ウ	成果	来館者数	↑	人	目標	40,000	45,000	60,000	
					実績	53,693	58,272		
工	成果	管理不足に起因する事故件数	↓	件	目標	0	0	0	
					実績	0	0		
才	成果	施設に関する苦情件数	↓	件	目標	0	0	0	
					実績	2	1		
					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源					
	特定財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0 0	0 0	0 0	0 0	
		一般財源	22,403	936	949	900	
		合計(A)	22,403	936	949	900	
		(内 会計年度任用職員人件費)	22,101				
		正職員人件費[按分](B)	3,925	9,070	8,606	6,551	
		トータルコスト(A)+(B)	26,328	10,006	9,554	7,451	
閥与職員数(単位:人)	正職員		0.47	1.03	0.98	0.68	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成3年、町民の要望により図書館が開館し、以来使いやすく清潔で快適な図書館を目指してきた。	図書館が設置されているふれあいセンターは、築25年を経過し施設の老朽化が進んでいる。施設管理を行う健康課と連携しながら、町の公共施設個別施設計画に基づいて改修していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事に合わせた飾りつけが好評(利用者から) ・協議会委員になった事により、図書館のことがよく理解できてよかったです。(協議会委員より) ・意見箱に「図書館を拡充してほしいです。狭いせいか、窮屈に感じてしまい、ゆっくり本を読むことができません。」という意見がありました。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

図書館管理運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				町民が安心して図書館を利用するための事業であり、町の総合計画に掲げている施策に直結している。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				志免町立ふれあいセンター条例に基づき、常に良好な状態において管理し、その設置目的に応じて効率的な運用をしなければならない。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				志免町立ふれあいセンター条例等により、町が設置し管理運営を行うこととしているため妥当である。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				安心して利用できるように施設の維持管理はできている。そのため館内表示やサインなどを増やし、また見えやすさなどを工夫し、利用者にとって本を探しやすい環境を整えている。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				町内または近郊の住民であり、事業を行う上では対象は適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				意図を達成するためには、施設の維持管理が有効な手段である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				業務の見直しの余地はなく、効率的である。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				施設を管理運営するために必要なコストである。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				国や県からの補助金はなく、町の予算措置が必要		
分析・検証結果	妥当性				分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			0点	1点	2点	3点	今年度も館内の環境整備として、レイアウト変更や飾り付けを行うなど、見た目に好感が持てるよう工夫した。本が探しやすい(利用しやすい)図書館となるよう、利用者目線でサイン(本を探す目印)や掲示物の更なる改善と日頃の図書の整理を行っていく。図書館システムで返却処理されずに書架に返却されて、利用者に未返却であると伝え、後日書架を探して図書を発見したことがあり、返却された図書は必ず2度返却処理を実施している。	
	有効性	いすれか0点	d	c	c	c		
	効率性	いすれか1点	c	c	c	c		
	合計4点		c	c	b	b		
	合計5点		c	b	b	a		
	合計6点		c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502303
事務事業名	広域体育施設活用事業	担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 款 科 目	会計 01 一般会計 10 教育費 06 保健体育費 03 体育施設費
取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	根拠法令条例等	個別計画	
実施期間	06年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H 9 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		②町民	人	46,588	46,342	46,342
	③意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・町にはない公営プールとトレーニング施設を低料金で利用できる				
	④手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	福岡県立アクション福岡の「総合プール」と「トレーニング室」を低料金で利用できるよう、施設利用の契約を行う ・施設指定管理者との契約事務 ・負担金支払事務 ・広報への掲載				
(2) 指標達成状況						

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	負担金額	↑	千円	目標 1,000 実績 325	1,000 60	1,000	6.0%
イ	活動	ホームページ、広報掲載回数	↑	回	目標 13 実績 13	13 12	13	92.3%
ウ	成果	プール利用延べ人数	↑	人	目標 3,500 実績 446	3,500 1,537	3,500	43.9%
エ	成果	トレーニング室利用延べ人数	↑	人	目標 19,300 実績 12,875	19,300 16,278	19,300	84.3%
オ	成果	利用可能日数	↑	日	目標 306 実績 298	306 311	306	101.6%
カ					目標 実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	0 0	0 0	0 0	0 0	
	経費	一般財源	325	1,136	608	1,136	
		合計(A)	325	1,136	608	1,136	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	672	702	701	476	
		トータルコスト(A)+(B)	997	1,838	1,309	1,612	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.08	0.08	0.08	0.05	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町立のプール及びトレーニング室を建設するには多額の費用がかかるため、近隣のプール・トレーニング施設管理者と利用契約し、町民の方が安く利用できるようにした。	24年度より、プールの指定管理者が西部ガスグループ共同事業体へ変更した。それに伴い、契約金額及び町負担額が増額した。 29年度より、プールの指定管理者が福岡県スポーツ振興センターに変更。 元年10月の消費税率改正に伴い、プール・トレーニング室の利用料金が増額したため、志免町との契約においても利用者負担が増額した。	施設利用者から、今後も継続してほしいとの声がある。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

広域体育施設活用事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				町に設置困難な施設について、近隣施設を低料金で利用できることは、スポーツ活動の環境づくりとなり、上位施策の目指す姿実現につながる。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 檢討の余地がある <input type="checkbox"/> 檢討の余地が多い				第6次志免町総合計画で町が取り組むべきことの中でスポーツ・文化活動ができる場を提供するとあり、近隣施設の利用を支援しますと明記されている。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 檢討の余地がある <input type="checkbox"/> 檢討の余地が多い				町立のプール及びトレーニング室を建設するには多額の費用がかかるため、近隣のプール・トレーニング施設管理者と利用契約し、町民の方が安く利用できるようにしたため、妥当である。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				福岡県立アクション福岡の「総合プール」と「トレーニング室」を低料金で利用できることを周知すれば、利用者増を見込めると考える。	2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				志免町に住所登録がある人が施設利用できるようにしているため。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				町立のプール及びトレーニング室を建設するには多額の費用がかかるため、有効である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				予算は、契約事務と支払事務のみであり、最低限のものであるのでコストの削減は難しい。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				活用できる補助金等はない。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点	コロナによる利用者数の減少があったものの令和5年度より利用者数が増加してきている。 周知を進めることにより、利用促進を図りたい。	
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c		
		いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点		c	c	b	b		
	合計5点		c	b	b	a		
	合計6点		c	b	a	a		
	a 業務の内容は適切である							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

今後の方向性	コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
					現在、町民が町に設置していない公営プールとトレーニング施設を低料金で利用できるよう、福岡県立アクション福岡の「総合プール」「トレーニング室」の施設利用契約を行っている。町民の利便性がさらに向上するよう、令和8年度から粕屋町の粕屋総合体育館(かすやドーム)のプール利用についても、低料金で利用できるよう粕屋町と利用契約を行う。			
A		成果拡充・費用拡大						

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502304
事務事業名		社会体育館等管理運営事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	款 10	教育費
根拠法令条例等		根拠法令条例等 に関する条例、志免町社会体育館の設置及び管理に関する条例		科 06	保健体育費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 51 年度より開始		目 03	体育施設費
				個別計画	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を)	対象名			単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民			人	46,588	46,342	46,342
		① 社会体育施設等			施設	15	15	15
		⑦						
事業内容	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(町民)社会体育施設等を安全で快適に利用できる ・(社会体育施設等)安全で快適に利用できるよう管理される						
		③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動 ・管理人契約業務、業務日誌の確認、委託料支払 ・使用申込手続き、貸出調整						

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	使用可能日数	↑	日	目標	342	342	342	100.0%
					実績	343	342		
イ	活動	施設使用受付件数	↑	件	目標	9,000	9,000	9,000	111.9%
					実績	9,304	10,067		
ウ	活動	修繕実施箇所	↑	箇所	目標	15	15	15	100.0%
					実績	10	15		
工	成果	延べ使用者数	↑	人	目標	273,000	273,000	273,000	85.8%
					実績	228,341	234,233		
才	成果	施設平均稼働率(稼働日数/使用可能日数)	↑	%	目標	100	100	100	100.0%
					実績	100	100		
力	成果	管理不足に起因する事故件数	↓	件	目標	0	0	0	
					実績	0	0		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源					
	一般財源	12,691	11,791	12,399	12,952		
	合計(A)	15,144	13,621	15,132	14,662	15,891	
	(内 会計年度任用職員人件費)	(2,282)	(2,799)	(3,174)	(4,151)		
	正職員人件費[按分](B)	3,502	4,399	4,831	3,946		
	トータルコスト(A)+(B)	18,646	18,020	19,963	18,608		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.42	0.50	0.55	0.41	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
スポーツ振興法の制定に基づき、社会体育及び社会教育の振興を図ることを目的として開始した。	使用者の競技種目の増加、定期的にスポーツ教室を行いたいなどの問い合わせが増えてきている。	施設の予約方法、受益者負担及び広域的な施設使用などに対する意見や要望が多く寄せられている。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名
社会体育館等管理運営事業
2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				町民のスポーツ活動の促進により、体力の向上や健康増進に役立っている。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				関連する条例により、各施設の管理を町が行うこととなっているため。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				平日や週末など多くの使用があり、十分に施設の活用ができている。今後も使用者が、安全で快適にスポーツに取り組める環境を整えていく。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				全町民が対象のため、適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				体育施設において適正管理に努め、町民にスポーツ活動の場を提供する事ができ適切である。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				最小限の事業費で実施している。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				平成28年度より受益者負担(使用料)の徴収を開始したが、受益者負担金額をさらに上げることでコストを削減が見込めるが、今後、周辺自治体の料金と比較するなど、状況に応じて検討することは考えるが、今のところ現状維持。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点	今後も継続して、利用者が安全に安心してスポーツに取り組める環境を整備していく必要がある。また、4月には「志免町弓道場」を開館し志免弓道部による体験会を開催され、部員の数が増加している。日本の伝統的な競技である弓道の更なる発展に期待したい。その他、日舞や詩吟などの伝統芸能もこの弓道場を活用できるため、今後も文化協会に周知しながら活用を広げていく。	
	有効性	いずれか0点	d	c	c	c		
	・効率性	いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
a		業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方針	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	D	成果・費用とも維持							
D		コストの方向性(一般財源・関与職員数)							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502305
事務事業名		屋外スポーツ施設管理運営事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	款 10	教育費
根拠法令条例等				科 06	保健体育費
				目 03	体育施設費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 S 51 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦町民	人	46,588	46,342	46,342
	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	・(町民)運動広場及び総合公園施設を安全で快適に利用できる ・(運動広場・総合公園施設)安全で快適に利用できるよう管理される				
		運動広場(町民広場、西地区運動広場、東公園グラウンド、桜丘運動公園野球場)、総合公園施設(野球場、テニスコート)の管理運営を行う ・管理人契約業務、業務日誌の確認、委託料支払 ・使用申込手続き(抽選会含む)、貸出調整(ナイターに限り抽選会実施) ・グランド整備、光熱水費の支払事務				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	自指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	使用可能日数	↑	日	目標 342 実績 343	342 342	342	100.0%
イ	活動	施設使用受付件数	↑	件	目標 - 実績 4,752	5,600 4,953	5,600 4,953	88.4%
ウ	活動	グラウンド整備回数	↑	回	目標 - 実績 6	6 6	6 6	100.0%
エ	成果	延べ使用者数	↑	人	目標 - 実績 58,259	74,000 60,096	74,000 60,096	81.2%
オ	成果	施設平均稼働率(稼働日数/使用可能日数)	↑	%	目標 100 実績 74	100 100	100 100	100.0%
カ	成果	管理不足に起因する事故件数	↓	件	目標 0 実績 0	0 0	0 0	

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源					
	特定財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	22 4,317	0 4,950	0 4,102	0 4,850	
		一般財源	7,283	8,716	6,833	8,952	
		合計(A)	11,622	13,666	10,935	13,802	
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	5,920	5,459	5,446	3,858	
		トータルコスト(A)+(B)	17,542	19,125	16,381	17,660	
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.71	0.62	0.62	0.40	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ (運動広場)スポーツ振興法の制定に基づき、社会体育及び社会教育の振興を図ることを目的として開始した。 (総合公園)総合公園を整備した昭和51年度から開始した。	②事務事業を取り巻く環境の変化 (運動広場)使用者の競技種目の増加、定期的にスポーツ教室を行いたいなどの問い合わせが増えてきている。 (総合公園)テニスの使用者が年々増加傾向にある。 町外在住者の使用が増えた。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 受益者負担及び広域的な施設使用などの意見要望が多く寄せられている。
--	--	---

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名 | 屋外スポーツ施設管理運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い				町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。	3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				町民のスポーツ活動の促進により、体力の向上や健康増進に役立っている。		
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い				町が維持管理しているため、利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の整備を行う。		
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い				平日や週末など多くの使用があり、十分に施設の活用ができている。今後も使用者が、安全で快適にスポーツに取り組める環境を整えていく。	3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				全町民が対象のため、適切である。		
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				体育施設において適正管理に努め、町民にスポーツ活動の場を提供する事ができ適切である。しかし、使用申込手続きについては、インターネット予約などの検討が必要。		
効率性	業務の効率化 (業務手順、閏与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				最小限の事業費で実施している。		
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い				平成28年度より受益者負担(使用料)の徴収を開始したが、受益者負担金額をさらに上げることでコストを削減が見込めるが、今後、周辺自治体の料金と比較するなど、状況に応じて検討することは考えるが、今のところ現状維持。		
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	2点	3点		
	有効性	いずれか0点	d	c	c	c	利用者が安全に安心してスポーツに取り組める環境整備を進めている。総合公園については、テニス場・野球場の管理人と連携をとりながら、利用者にとって気持ちのいい施設利用を促していきたい。	
	効率性	いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b			
	合計5点	c	b	b	a			
	合計6点	c	b	a	a			
	a	業務の内容は適切である						

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方針	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・閏与職員数)			
			E	D					
	維持		F						
			G						
	D	成果・費用とも維持							

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502307
事務事業名		体育施設整備事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	款 10	教育費
根拠法令条例等				科 06	保健体育費
				目 03	体育施設費
実施期間		<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 R 3 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		個別計画	
				年度～	年度

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名			単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 社会体育施設等			施設	21	22	22
		①						
		⑨						
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	総合公園基本計画に基づき整備を行う ・総合公園野球場設備改修工事(1期) ・総合公園野球場照明改修工事(2期) ・総合公園野球場整備設計業務委託(2期) 志免町公共施設個別施設設計画に基づき長寿命化を図る ・町民体育館改修設計業務委託						

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	自指すべき 方向性	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
								ア イ ウ エ オ カ
ア	活動	施設整備件数	↑	件	目標 3 実績 3	2 2	1	100.0%
イ	成果	施設整備率	↑	%	目標 100 実績 100	100 100	100	100.0%
ウ					目標 実績			
エ					目標 実績			
オ					目標 実績			
カ					目標 実績			

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円)		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源 一般財源 合計(A) (内 会計年度任用職員人件費) 正職員人件費[按分](B) トータルコスト(A)+(B)					
		122,030 137,070 26,563 285,663 7,092 292,755	86,300 32,163 12,057 130,520 7,307 137,827	67,900 23,532 15,350 106,782 7,118 113,900	0 53,520 0 53,520 7,040 60,560		
	関与職員数(単位:人)	正職員	0.85	0.83	0.81	0.73	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
社会体育施設等の老朽化が進んでいるため、町民の一人ひとりが、生涯スポーツに取り組める環境整備などを目的として開始した。	社会体育施設等の老朽化が進んでいるため、改修、撤去、新設などが必要。	社会体育施設等利用者から施設改修などの要望があった場合その都度対応している。また、利用していた施設の使用停止に伴い、活動できる施設の建設を要望している団体もある。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

体育施設整備事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目				評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策		判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い	<input type="checkbox"/> 貢献度ふつう	<input type="checkbox"/> 貢献度低い		町民の交流、また社会教育の場として施設を提供し、町民の体力向上や仲間づくりに役立っている。			
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		町が既存・新設を含め、利用者が安全かつ快適に各種スポーツを行えるよう、各施設の整備を行う。		3	
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		町が維持管理しているため、利用者が安全にスポーツができるよう、各施設の整備を行う。			
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある	<input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い		各体育施設は適切に整備されており、成果の向上の余地はない。		3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		事業の対象を社会体育施設等とすることで、安全性・機能性・利便性の向上を図る。			
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		社会体育施設等の安全性・機能性・利便性の向上を図るため、整備を行うことは適切である。			
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。		3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		施設整備に必要最低限の予算計上となっており、これ以上削減の余地はない。			
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		町財政の負担軽減を図るため、補助金等の財源確保を図る。出来るかぎり、事業対象補助金の利用を検討する。			
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
		0点	1点	2点	3点	総合公園野球場の1塁側のダッグアウト、観客席、3塁側(レフト側)の照明設備が昭和51年に整備後48年経過しており、老朽化が著しいことから総合公園基本計画に基づき整備を行った。今後も利用者の利便性、安全性が向上させるよう計画的に進めていきたい。			
	有効性・効率性	いずれか0点	d	c	c	c			
		いずれか1点	c	c	c	c			
		合計4点	c	c	b	b			
		合計5点	c	b	b	a			
		合計6点	c	b	a	a			
分析・検証結果	a 業務の内容は適切である								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)					
		皆減	縮小	維持	拡大						
今後の方向性	拡充		C	B	A						
	維持		E	D							
	縮小		F								
	休廃止	G									
	D	成果・費用とも維持						コストの方向性(一般財源・関与職員数)			

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input checked="" type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502308
事務事業名		市民センター改修事業		担当課	社会教育課
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算	会計 01 一般会計
	取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する	款	10 教育費
				科 项	05 社会教育費
			目	04 市民センター管理費	
根拠法令条例等				個別計画	
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返		年度より開始	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年) R 3 年度～ R 7 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名			単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦市民センター			施設	1	1	1
		①						
		⑨						
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	市民センター(中央公民館棟・機械室棟・生涯学習2号館棟・共同利用施設棟)の耐震補強や老朽化した設備・機器の改修工事を行い、建物の長寿命化と施設環境の向上を図る。 ・市民センター改修工事 ・市民センター改修工事監理						

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	調査設計件数	↑	件	目標	0	0	0	
					実績	0	0		
イ	活動	改修工事件数	↑	件	目標	1	1	1	100.0%
					実績	1	1		
ウ	成果	事業進捗率	↑	%	目標	60	80	100	100.0%
					実績	60	80		
工					目標				
					実績				
才					目標				
					実績				
力					目標				
					実績				

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	経費	財源					
	特定	国・県支出金、地方債	20,300	1,450,100	1,450,100	857,100	
	財源	その他特定財源	10,646	149,645	149,645	303,063	
		一般財源	0	0	0	3,668	
		合計(A)	30,946	1,599,745	1,599,745	1,163,831	-
		(内 会計年度任用職員人件費)					
		正職員人件費[按分](B)	4,673	5,015	5,003	5,975	
		トータルコスト(A)+(B)	35,619	1,604,760	1,604,748	1,169,806	
	閥与職員数(単位:人)	正職員	0.56	0.57	0.57	0.62	

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
市民センターは建築から約40年が経過し、建物及び設備機器等の老朽化が著しく、市民が安全で快適に利用できる環境を維持するためには、施設の改修を行い長寿命化を図る必要があることから開始された。	社会情勢の影響により世界的に物資の製造・調達(流通)が停滞し、労務費や建築資材等の高騰化など、改修に係る費用の増大が見込まれる。	建物の長寿命化に併せて、施設の機能性向上や周辺環境の整備について要望がある。

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

町民センター改修事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策			判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	町民センター改修事業により安全で快適な活動ができる施設環境を提供することは、上位施策の目指す姿の実現に直結する。			3	
	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	公共施設個別施設計画において、建物の機能を回復・向上させる長寿命化改修を行うことになっているため妥当である。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が所有する公共施設(社会教育施設)であり、公共施設個別施設計画に沿って自治体が主体で取り組む事業である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	成果の達成に向けて計画的に事業を進めており、現状では期待する成果が得られている。			3	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	建物の安全性・機能性の向上を達成するうえで、町民センターを対象とすることは適切である。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民センターの改修工事を行い、建物の長寿命化と施設環境の向上を図ることが意図を達成するうえで最も有効な手段である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設の状況や課題を把握している職員と建築士の資格を有する職員で連携を図り、専門的な知見などを有した業者へ委託することで効率的に事業ができている。			3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	町民センター改修工事に係る必要最低限のコストとなっており、現在はこれ以上削減する余地はない。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設長寿命化に係る国の起債や県の補助金等について調査検討した結果、起債を使用することが最も財源確保に適切である。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
		0点	1点	2点	3点		
	いずれか0点	d	c	c	c	令和6年度は工事比率が最も高く様々な懸案事項も発生したが、各種部門との調整を始めとして慎重に工程管理を行なうことで円滑な事業進捗に努めた結果、大きなトラブルもなく無事当初計画のとおり完了できた。令和7年度は事業最終年に当たるため、更にチェック体制やスケジュール管理等を徹底し、令和8年1月の供用開始を目指して確実に事業を進めて行きたい。	
	いずれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b		
	合計5点	c	b	b	a		
	合計6点	c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方向性	拡充		C	B	A				
	維持		E	D					
	縮小		F						
	休廃止	G							
	G	終了廃止				コストの方向性(一般財源・関与職員数)			

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

[福岡県志免町]

基本情報		<input type="checkbox"/> 06年度 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略該当事業		事務事業コード	1502309
事務事業名	生涯学習館管理運営事業	担当課	社会教育課	担当係	生涯学習1号館
総 体 合 計 画 系	施策	02	スポーツ・文化活動の振興	予 算 款 科 目	会計 01 一般会計 10 教育費 05 社会教育費 08 生涯学習館管理費
取り組み方針	2-3	スポーツ・文化活動ができる場を提供する			
根拠法令条例等	志免町ボランティアネットワークセンターに関する条例	個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 06年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> H 10 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～	年度	

1 計画・実施(PLAN・DO)
(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業の目的	①対象 (誰を、何を) ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	対象名	単位	05年度	06年度	07年度 (見込)
		⑦ 町民	人	46,588	46,342	46,325
		① 利用登録団体	団体	383	159	200
		⑤ 生涯学習館	施設	1	1	1
		・(町民、利用登録団体)生涯学習館を安全で快適に利用できる ・(生涯学習館)安全で快適に利用できるよう管理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	生涯学習館(ホール、会議室等)の管理運営を行う ・管理、保守点検業務委託契約事務、修繕依頼、支払事務 ・施設貸出の受付等				

(2) 指標達成状況

	種別	指標名	自指すべき 方向性	単位		05年度	06年度	07年度 (見込)	達成率
ア	活動	開館日数	↑	日	目標	307	305	306	100.0%
					実績	307	305		
イ	活動	維持管理業務委託件数	↑	件	目標	10	10	10	100.0%
					実績	10	10		
ウ	成果	延べ来館者数	↑	人	目標	20,000	20,000	20,000	95.0%
					実績	17,099	18,996		
エ	成果	施設平均稼働率	↑	%	目標	60	50	50	98.9%
					実績	46	49		
オ	成果	管理不足に起因する事故件数	↓	件	目標	0	0	0	
					実績	0	0		
カ	成果	施設に関する苦情件数	↓	件	目標	0	0	0	
					実績	0	0		

(3) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(単位:千円) ※四捨五入により合計値が合わないことがあります		05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	06年度 (決算値)	07年度 (当初予算)	08年度 (計画)
	特定 財源	国・県支出金、地方債 その他特定財源	5 1,703	0 1,672	0 1,733	0 1,672	
一般財源		18,247	20,915	25,221	27,070		
合計(A)		19,955	22,587	26,955	28,742		
(内 会計年度任用職員人件費)		6,434	7,769	(12,159)	(13,090)		
正職員人件費[按分](B)		4,001	1,676	1,672	3,758		
トータルコスト(A)+(B)		23,956	24,263	28,627	32,500		
関与職員数(単位:人)	正職員	0.48	0.19	0.19	0.39		

(4) 環境変化・住民意見等

①事務事業開始のきっかけ 平成10年7月に生涯学習の推進のために生涯学習館が設立された。	②事務事業を取り巻く環境の変化 平成27年10月から使用区分及び使用料を見直し、使用1時間ごとの料金設定とした。	③事務事業に対する関係者からの意見・要望 なし
---	---	----------------------------

事務事業評価表 (事業実施年度:令和 06 年度)

事務事業名

生涯学習館管理運営事業

2 分析・検証(CHECK)

評価の視点		項目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策			判定	
妥当性	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の目指す姿の実現に直結しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度高い <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度低い	生涯学習の場である、生涯学習館を快適に利用できることは、市民が生涯活動の親しみやすい環境づくりとなるため、上位施策の目指す姿の実現に貢献する。			3	
	意図の適切性 (総合計画、市民のニーズ、法令等に対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	総合計画の町が取り組むべきことで「スポーツ、文化活動ができる場を提供する」と掲げているため。				
	自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	町が生涯学習を推進する場として設置しており、その管理運営を行うことが妥当である。				
有効性	成果の向上余地 (期待する成果を得られたか、今後期待する成果をあげる余地があるか)	<input type="checkbox"/> 期待する成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地がややある <input type="checkbox"/> 成果の向上余地が多い	市民センター改修工事に伴い、社会教育課が1号館の中研修室1及び2を執務室として、使用しているため利用者数は減少しているが、平常に戻れば成果が向上する余地はある。			2	
	対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	生涯学習館は市民及び在勤の方も広く利用できるため。				
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	施設を適正に管理し運営することが最も有効かつ必要である。				
効率性	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。			3	
	投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	適正に管理運営を行う上で必要最低限の費用である。				
	財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	国、県等の補助金は特にない。また利用者においては利用料を徴収している。				
分析・検証結果	妥当性		分析・検証結果に対する総括(06年度の振り返り・課題点とその対応策など)				
			0点	1点	2点	3点	
	いすれか0点	d	c	c	c		
	いすれか1点	c	c	c	c		
	合計4点	c	c	b	b		
	合計5点	c	b	b	a		
	合計6点	c	b	a	a		
a		業務の内容は適切である					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに08年度以降の対応方針を検討する]

		コストの方向性				成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
		皆減	縮小	維持	拡大				
今後の方針	拡充		C	B	A	コストの方向性(一般財源・関与職員数)			
			E	D					
	維持		F						
			G						
	縮小								
D		成果・費用とも維持							